



PLATFORM-X⁺

モーター式フェーダー内蔵、音楽制作用 MIDI/ オーディオコントロールサーフェス
(Platform M+ の拡張子)





警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

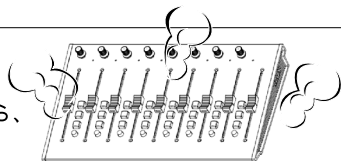
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいた場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります	 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。	<table border="1"> <tr> <td>注意を促す記号</td> <td>火災 </td> <td>感電 </td> <td>指み </td> </tr> <tr> <td>行為を禁止する記号</td> <td>禁止 </td> <td>分解禁止 </td> <td>接禁止 </td> </tr> <tr> <td>行為を指示する記号</td> <td>プラグをコンセントから抜く </td> <td>強制 </td> <td></td> </tr> </table>	注意を促す記号	火災	感電	指み	行為を禁止する記号	禁止	分解禁止	接禁止	行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く	強制	
注意を促す記号	火災	感電	指み											
行為を禁止する記号	禁止	分解禁止	接禁止											
行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く	強制												



警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください	5
機能	6
上面パネルレイアウト	7
サイドパネルのレイアウト	9
使用法 (Platform M+ でエクステンダーとして使用する)	10
Platform X+ コントローラの接続	10
Cubase	15
Ableton Live	17
Logic Pro	18
Samplitude	20
Pro Tools	22
Platform X+ コントローラの接続	24
(スタンドアロンデバイス)	24
Cubase	25
Nuendo	26
Logic Pro	27
Samplitude	28
Bitwig	30
Reason	31
Reaper	32
Studio One	33
Ableton Live	34
Pro Tools	35
www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドラ イバをダウンロードします	37
Windows に iMap™ をインストールする	38
iMap™ による DAW モードの割り当て (Mackie Control/HUI) または MIDI 機能の定義	40
iMap™ を使った DAW モード (Mackie control/HUI) の割り当て	41
iMap™ を使用したユーザー定義モードでの MIDI メッセージの割り当 て	43
ユーザー定義モードでの制御エレメント設定	45
iMap™ のその他の機能	47
ファームウェアのアップグレード	48
デフォルト工場設定に戻す	51
製品仕様	52
修理について	53

はじめに

ICON PPlatform X+ MIDI/ オーディオコントロールサーフィスーをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Platform X+ MIDI/ オーディオコントロールサーフィスの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

次のリンクのサイトから製品を登録してください：www.iconproaudio.com/registration:

次の手順に従ってください。まず、デバイスのシリアル番号と個人情報などを記入します。www.iconproaudio.com にてオンラインで製品をご登録いただくと、サービスやアフターセールスサポートを弊社のヘルプセンターからお受けになることができます。また、個人製品ページでお客様のアカウントに登録済み製品が表示されるので、そこでお使いのデバイスのファームウェア/ドライバのアップグレード、ソフトウェアバンドル、ユーザーマニュアルのダウンロードなど行うことができます。

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

付属品をご確認ください

- Platform X+ USB MIDI コントローラー x 1 個
- Quick Start Guide x 1
- USB2.0 ケーブル x 1
- 電源アダプター x 1pc

お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。 未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合： ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合： 「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

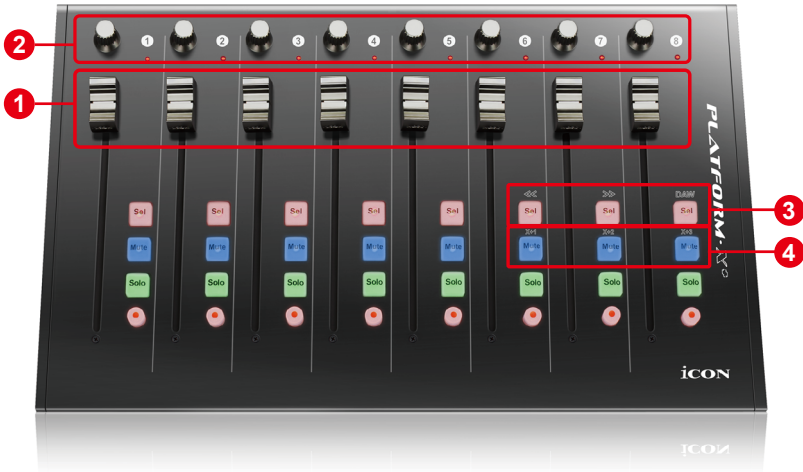
このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

機能



- Platform M+ (TM) 用 8 チャンネルエクステンダー
- Platform M+ なしでスタンドアロンユニットとして使用
- Platform M+ と Platform X+ を 3 台使用することにより、32 チャンネルまでのコントロール・パネルに拡張可能。
- 非常にコンパクト、頑丈、かつ多目的
- 様々な Platform 拡張モジュールにより、最適な設定にカスタマイズ可能
- 10 ビットの解像度を持つ 8 タッチセンス付きモータライズチャンネルフェーダー
- デュアル機能エンコーダーつまみ (入力して回す) 8 個
- セレクター、ミュート、ソロ、録音を含む、各チャンネル用照明式ボタン
- Cubase/Nuendo、LogicPro、Digital Performer、FL Studio、Samplitude、Reaper、Studio One、Bitwig、Reasons、ProTools、Sonar、Audition、Ableton Live、User define 用のコントロー Mackie ル内蔵
- Pro Tool 用の内蔵の Mackie HUI プロトコル
- MIDI 機能が簡単にマッピングできる iMap™ ソフトウェアを同梱
- USB 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- Windows XP、Vista (32ビット)、Windows 7/8/10 (32ビットおよび64ビット)、Mac OSX (IntelMac) クラス・コンプライアント
- 高速 USB 2.0 対応
- 製造品質に優れた、Kensington ロックポート搭載の堅牢なメタルケーシング
- 12V/2.5A 電源アダプター付属

上面パネルレイアウト



注意: DAW によって機能がわずかに異なることがあります。各機能については DAW の取扱説明書をご覧ください。以下の説明は、Apple Logic™ の動作機能に基づいています。

1. チャンネルフェーダー

DAW のトラックの音量コントロールには、普通、8 個の 100mm モーター式フェーダーを使用します。DAW によっては、「フリップ」ボタンでフェーダーの機能を切り替えて、別の設定に変更することができます。このフェーダーはタッチセンシティブですので、手を触れた瞬間に自動設定に割り込むことができます。また、フェーダーはモーター駆動式なので、DAW アプリケーションで選択したチャンネルの現在のレベルに応じて、自動的に移動します。プロジェクトの自動録音設定が、フェーダー位置に反映されます。

2. つまみ

9 個のロータリーエンコーダー式つまみは、トラックのパンポジションや AUX 出力レベルや DAW の EQ レベルをコントロールするために使用します。プラグインや仮想楽器の特定のパラメータを調整するためにプリセットすることもできます。

(**注意:** ProTools で Platform M+ とエクステンダーとして接続すると、ソフトウェアの問題により、「プラグイン」のような一部の機能は、Platform X+ で使用できません。)

3. DAW セレクターセクション

Platform X+ には、Cubase™、Samplitude™、Ableton Live™、Logic Pro™、ProTools™ など、各種 DAW's の Mackie コントロールプロトコル & HUI が統合されています。適切な DAW および Mackie コントロールプロトコル (HUI) を選択すると、Platform X+ に主な機能が自動的にマッピングされ、DAW とシームレスに動作させることができます。

<</> ボタン - これらの矢印ボタンは、DAW リストをスクロールするために使用します。Platform D / Platform D2 がインストールされている場合、DAW の名前が LCD に表示されます。インストールされていない場合は、10 ページの LED の連続と DAW モードを参照してください。

DAW ボタン - これを押すと、DAW 選択モードになります。

Platform X+ DAW モードを変更するには、電源スイッチを一旦オフにしてからオンにして、DAW's 選択モードにします。「<<」と「>>」ボタンで、リストから希望の DAW を選択してください。

ヒント: DAW を選択する前に、Platform X+ の「ユニット番号 **4**」を選択する必要があります。簡単に説明すると、Platform M+ の隣のユニットは常に、ユニット番号 1 で開始します。また、次のユニットはユニット番号 2 で開始し、最後のユニットはユニット番号 3 で開始します。

注意: DAW ボタンは、DAW ソフトウェアを実行している際にはアクティブ化できません。

(**注意:** Platform X+ のファームウェアを適宜更新し、現在の既存のリスト以外の DAW を追加します。弊社の公式 Web サイト www.iconproaudio.com を確認し、Platform X+ のファームウェアをダウンロードしてアップグレードするか、Web サイトのフロントページの下部のニュースレターに登録してください。ニュースレターでは、ファームウェアの最新情報をお送りしております。)

(**ヒント:** Platform X+ は最後に選択された DAW モードを記憶し、スイッチを入れてから数秒後に同じモードを再入力します。(すなわち、最後に使用したモードを再使用する場合には、DAW モードを選択する必要はありません。)

サイドパネルのレイアウト



1. USB ポート

対応ソフトウェアとノート PC（またはデスクトップ PC）との MIDI ポートとして機能します。

2. LCD モジュール (Platform D/Platform D2)

付属のケーブルで Platform D/Platform D2 をここに接続してください。

3. 12V/2.5A 電源アダプター

ここに、付属の電源アダプターを接続します。

(**注意** : Platform X+ は、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USB バス電源では、Platform X+ を動作させるための十分な電源を供給することはできません。)

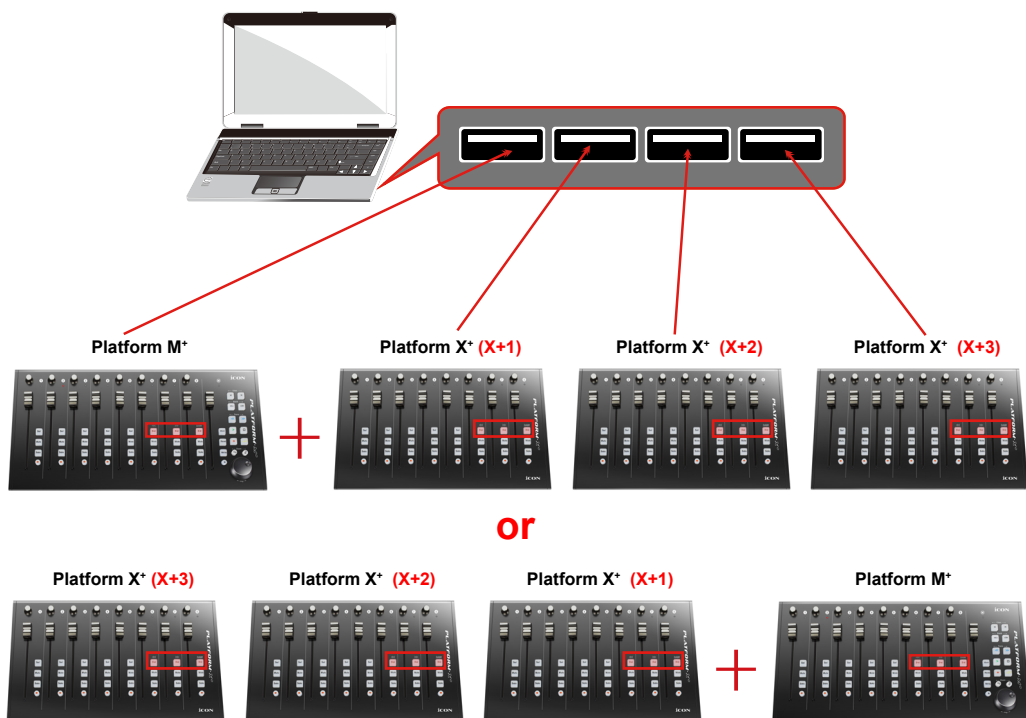
注意 : ソフトウェアの問題が原因です。Platform X+ が Platform M+ のエクステンダーユニットとして使用されている場合、以下に示す機能は ProTools で正常に動作しません。

使用法 (Platform M+ でエクステンダーとして使用する) Platform X+ コントローラの接続

1. USB ポートを介して Mac/PC に Platform X+ を接続する

お手持ちの Mac/PC で USB ポートを選び、USB ケーブルの幅広（平ら）な端を差し込んでください。Platform X+ に、ケーブルのもう一方の端を差し込んでください。Mac/PC は自動的に新しいハードウェアを検出し、画面に使用可能になったことが表示されます。

(**ヒント** : ICON の CubeHub USB ハブをお使いになるようお勧めします。これを使用すると、コンピュータの USB ポートに Platform X+ を直接接続しなくても、Platform X+ を 3 台まで接続することができます。)



2. DAW を選択する

<< (チャンネル6の「Sel」ボタン)/>> (チャンネル7の「Sel」ボタン)を押して、DAW リストをスクロールしてから、「DAW」(チャンネル8の「Sel」ボタン)ボタンを押して選択を行います。



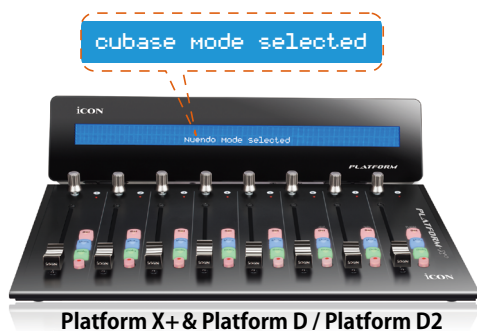
プラットフォーム Platform D/Platform D2(オプション) がインストールされている場合、リストをスクロールして選択を行う際、DAW の名前が LCD に表示されます。それ以外の場合は、画面上部にある9チャンネルのLED表示灯がDAWを示します。以下の順番で切り替わります：

チャンネル1 LED：MCP (Nuendo / Cubase / Samplitude / Ableton Live / Reaper / Studio One / Reason / Bitwig / Sonar / Audition / FL Studio / Digital Performer)

チャンネル2 LED：Logic Pro

チャンネル3 LED：HUI (Pro Tools)

チャンネル4 LED：User define



ヒント：Platform X+ は最後に選択された DAW モードを記憶し、スイッチを入れてから数秒後に同じモードを再入力します。(すなわち、最後に使用したモードを再使用する場合には、DAW モードを選択する必要はありません。)

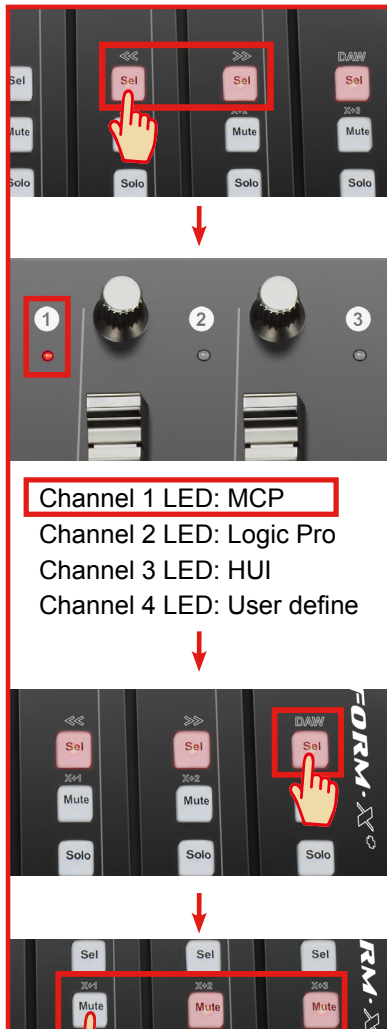
1 Platform M+



The diagram illustrates the configuration for Platform M+. It is divided into three horizontal sections. The top section shows a close-up of three 'Sel' buttons with left and right arrow icons, with a hand icon pointing to the first 'Sel' button. The middle section shows three knobs labeled 1, 2, and 3, with a red box around knob 1. The bottom section shows a close-up of three 'Sel' buttons, with the third one labeled 'DAW' and a hand icon pointing to it. A list of LED assignments is provided in the center:

- Channel 1 LED: MCP
- Channel 2 LED: Logic Pro
- Channel 3 LED: HUI
- Channel 4 LED: User define

2 Platform X+ (X+1)

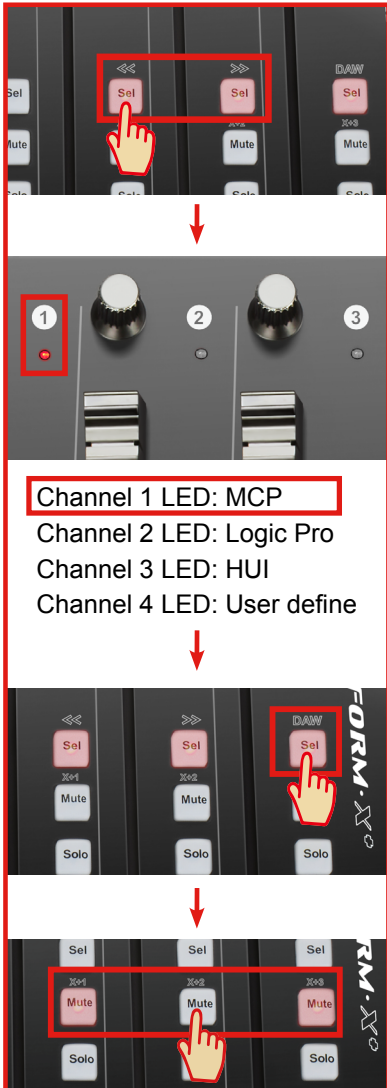


The diagram illustrates the configuration for Platform X+ (X+1). It is divided into three horizontal sections. The top section shows a close-up of three 'Sel' buttons with left and right arrow icons, with a hand icon pointing to the first 'Sel' button. The middle section shows three knobs labeled 1, 2, and 3, with a red box around knob 1. The bottom section shows a close-up of three 'Sel' buttons, with the third one labeled 'DAW' and a hand icon pointing to it. A list of LED assignments is provided in the center:

- Channel 1 LED: MCP
- Channel 2 LED: Logic Pro
- Channel 3 LED: HUI
- Channel 4 LED: User define

Additional details include the 'FORM-X' logo on the right side of the control panel and a red box highlighting the 'Mute' buttons for channels 1, 2, and 3 in the bottom-most section.

3 Platform X+ (X+2)



4 Platform X+ (X+3)

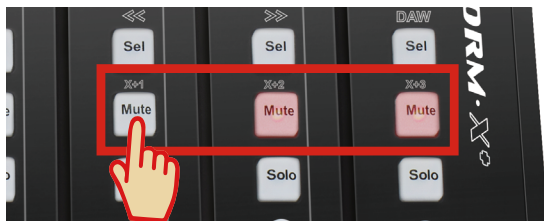


3. デバイスのユニット番号を選択します。

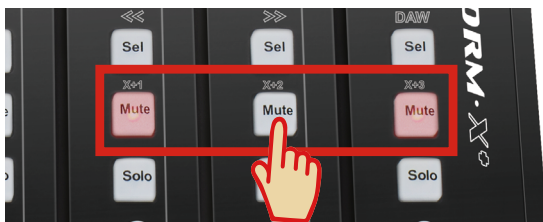
デバイスのユニット番号を選択します。

ユニット番号を Platform X+ (s) に設定するには、下の図を参照してください。

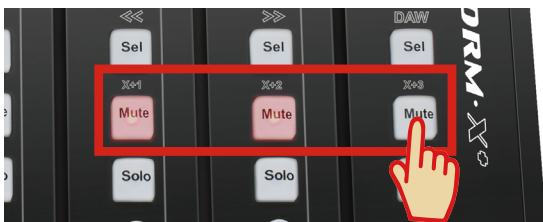
Platform X+ (X+1)



Platform X+ (X+2)



Platform X+ (X+3)



4. DAW のセットアップ

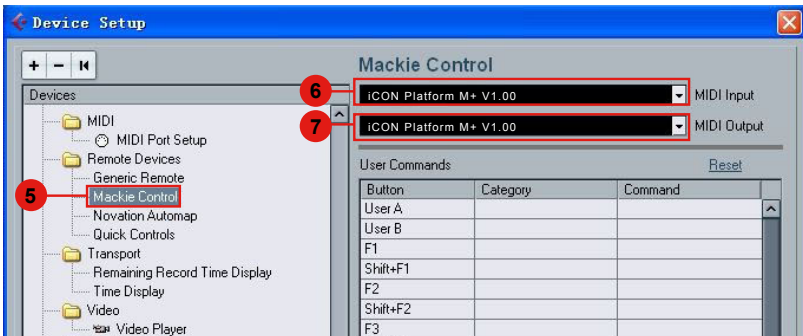
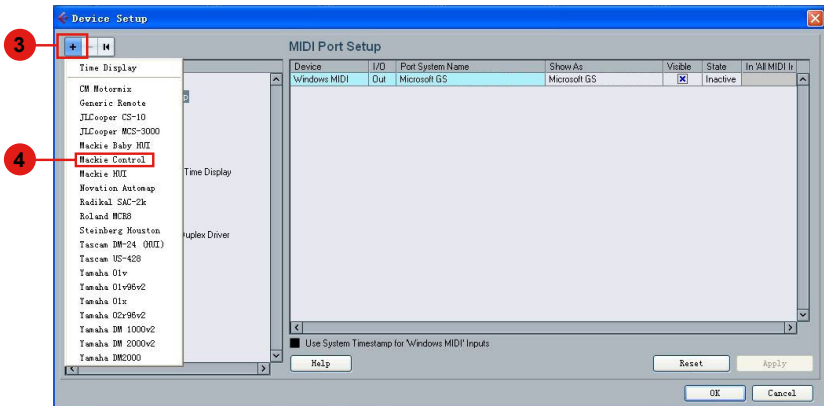
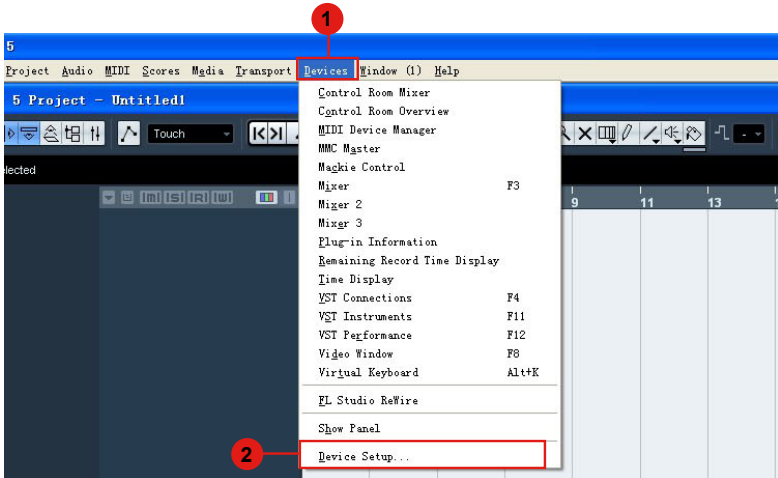
DAW または MIDI ソフトウェアの「MIDI セットアップ」または「MIDI デバイス」を使って、ICON Platform X+ コントローラーを起動します。

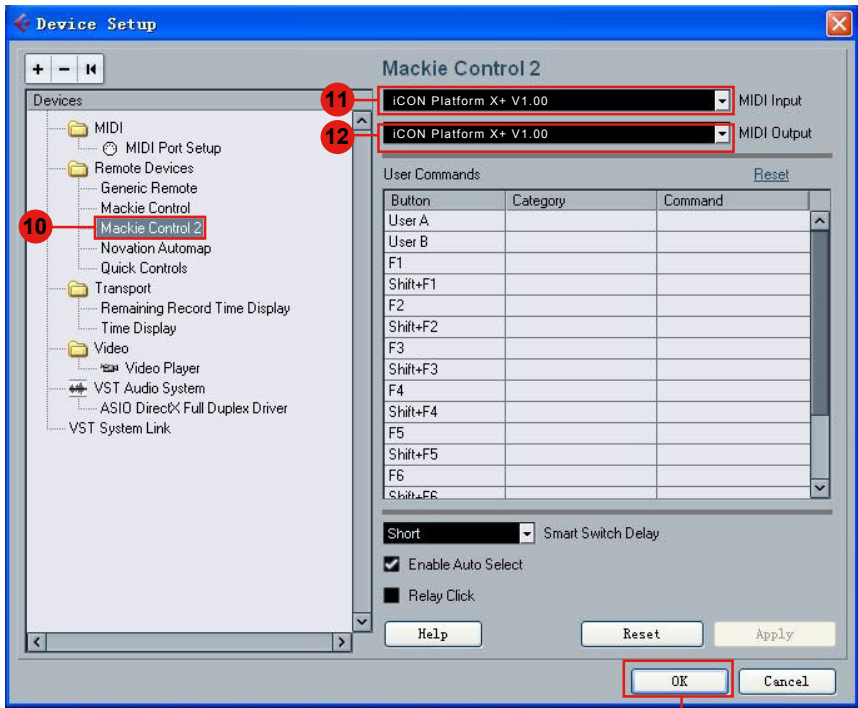
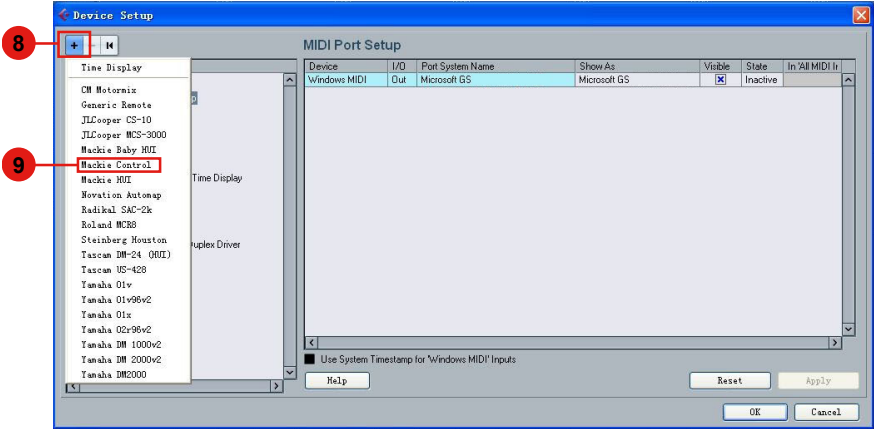
Logic™、Cubase™ や Nuendo™ では、「デバイスリスト」から「Mackie コントロール」を選択してください。

(**ヒント:** 当社のウェブサイト (www.iconproaudio.com) もご覧ください。また、各コントローラー (Platform X+) 製品ページの「Setup デモ」セクションには、種々の DAW の設定法を示した図が記載されています。)

Setup デモリストに掲載されていない DAW に関しては、お使いのソフトウェアのユーザーマニュアルでハードウェアの設定を参照してください。)

Cubase





Mackie Control 2

iCON Platform X+ V1.00 MIDI Input

iCON Platform X+ V1.00 MIDI Output

User Commands Reset

Button	Category	Command
User A		
User B		
F1		
Shift+F1		
F2		
Shift+F2		
F3		
Shift+F3		
F4		
Shift+F4		
F5		
Shift+F5		
F6		
Shift+F6		

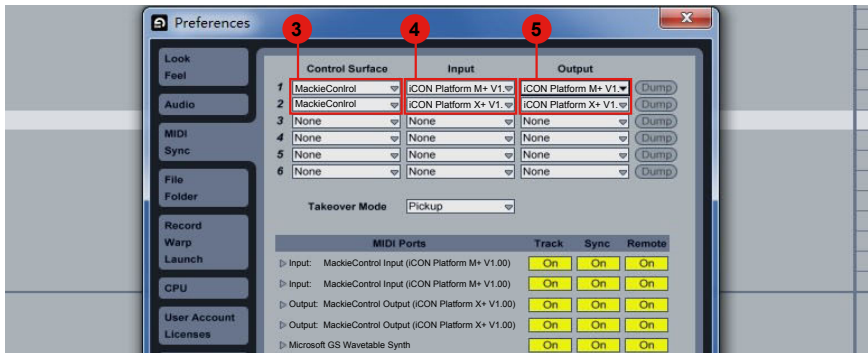
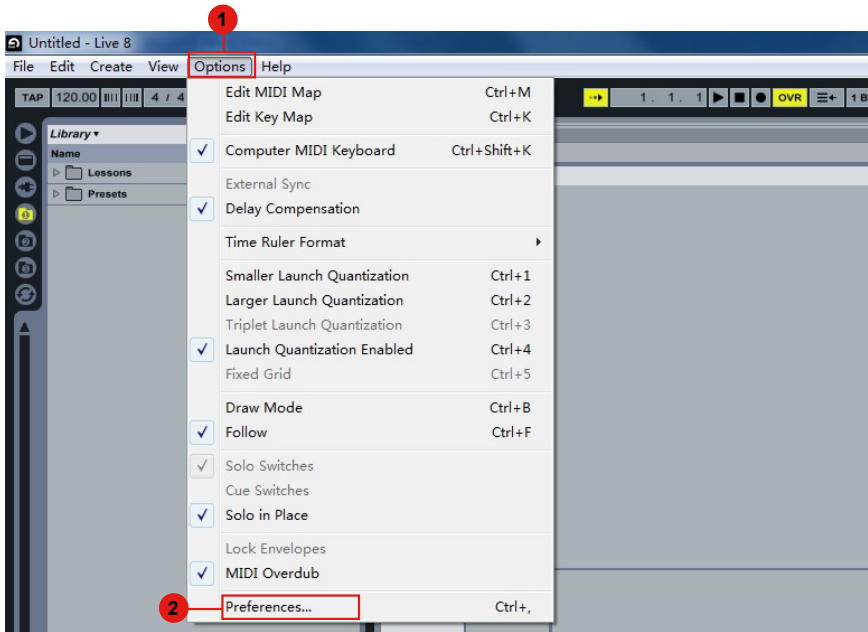
Short Smart Switch Delay

Enable Auto Select

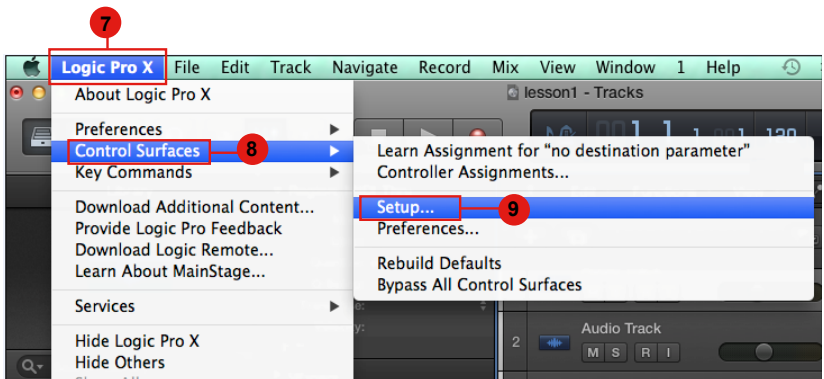
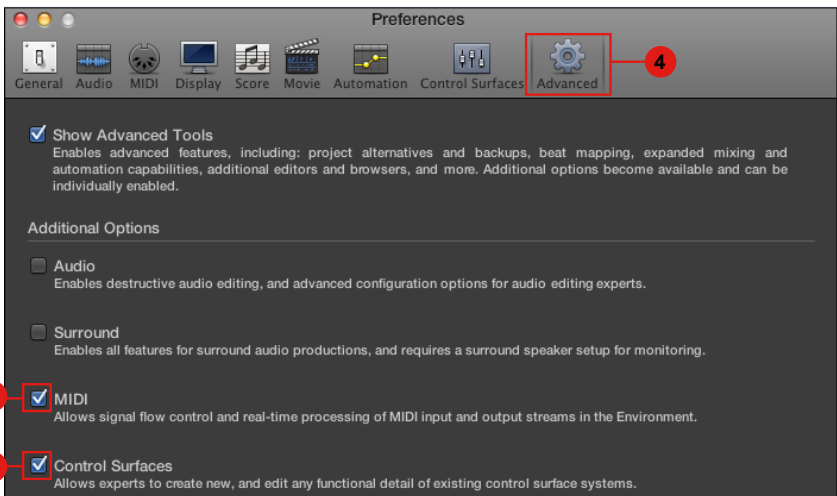
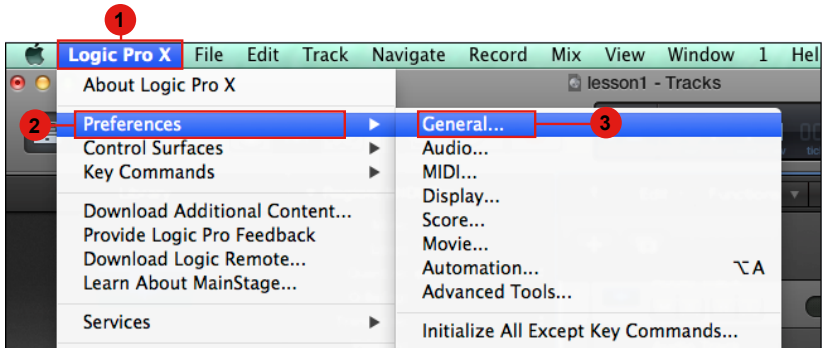
Relay Click

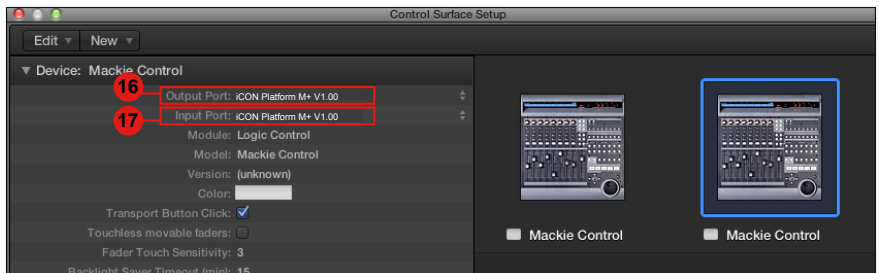
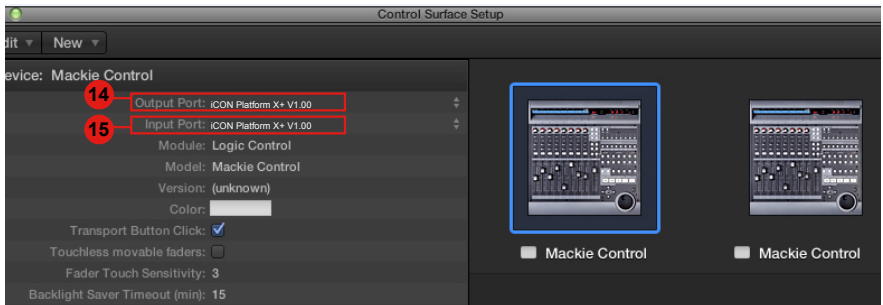
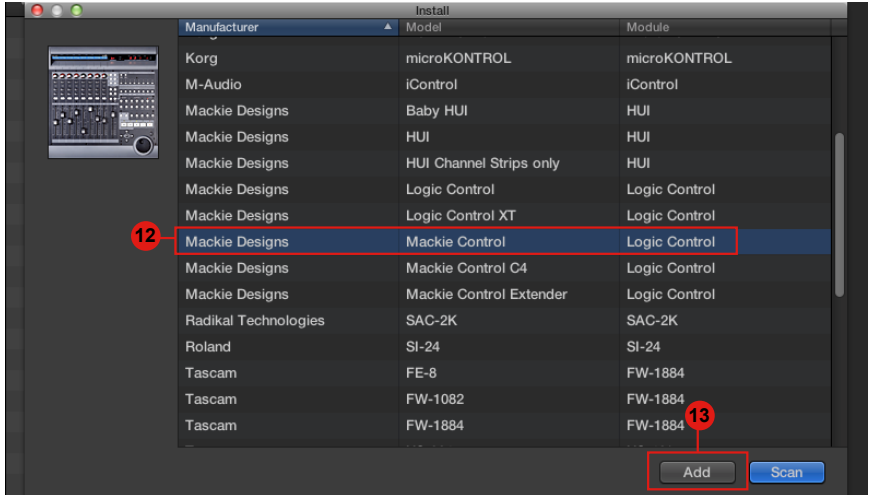
OK Cancel

Ableton Live

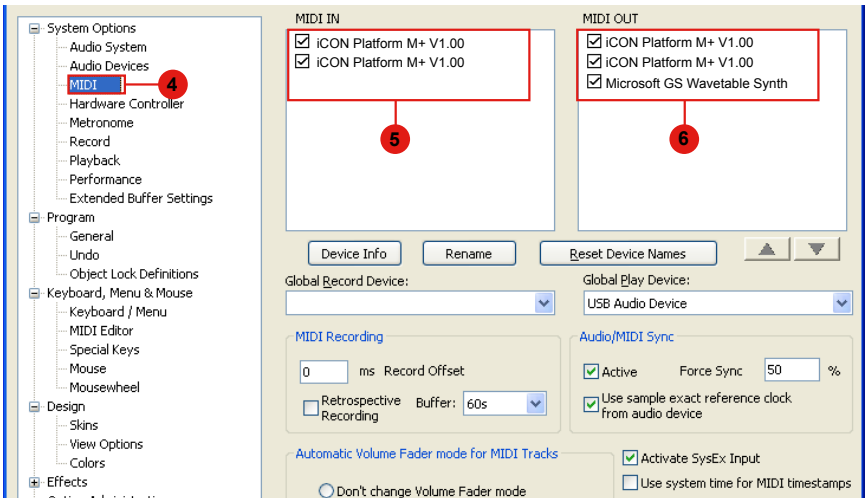
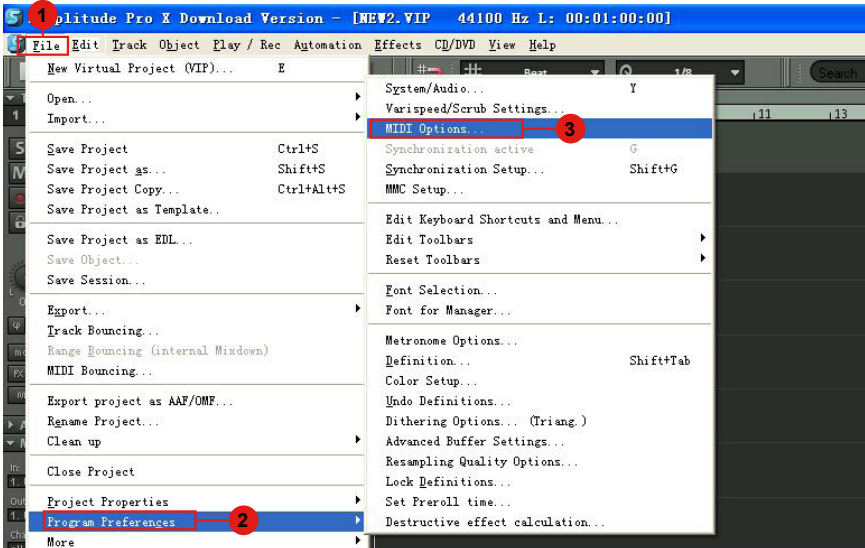


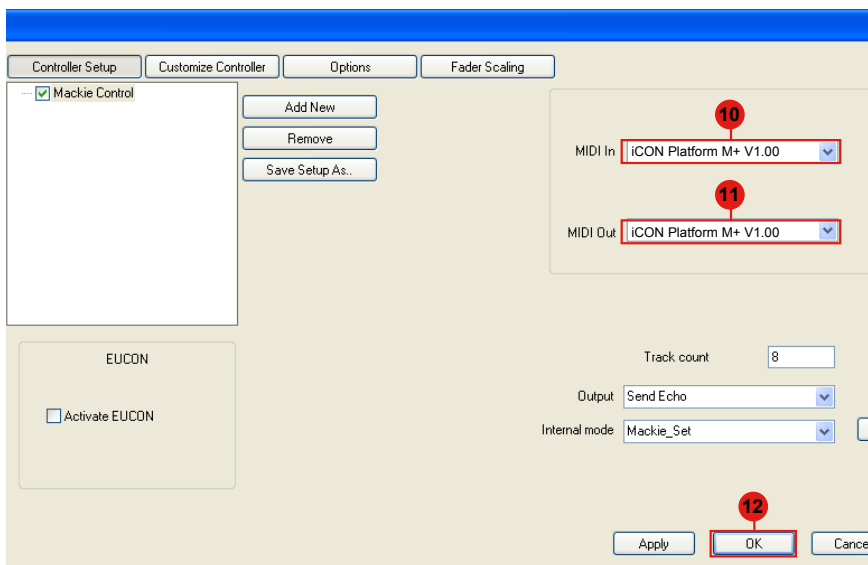
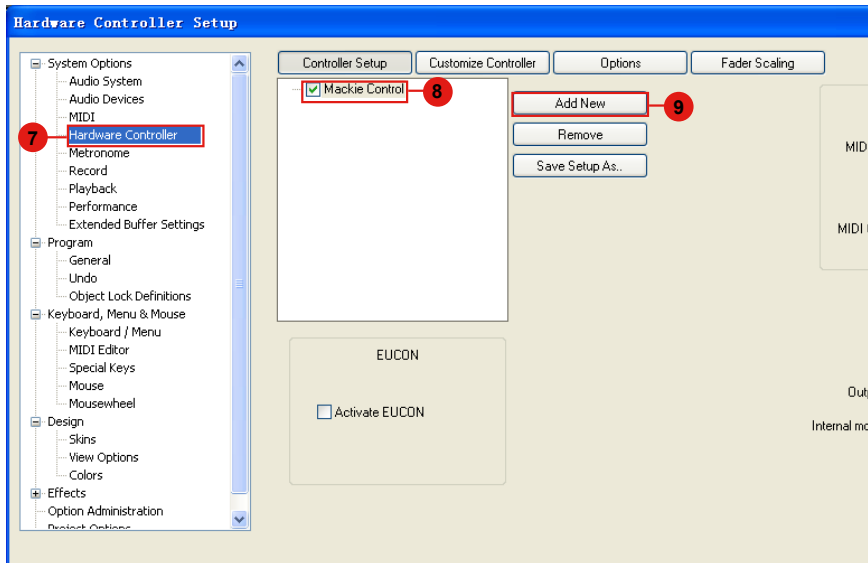
Logic Pro



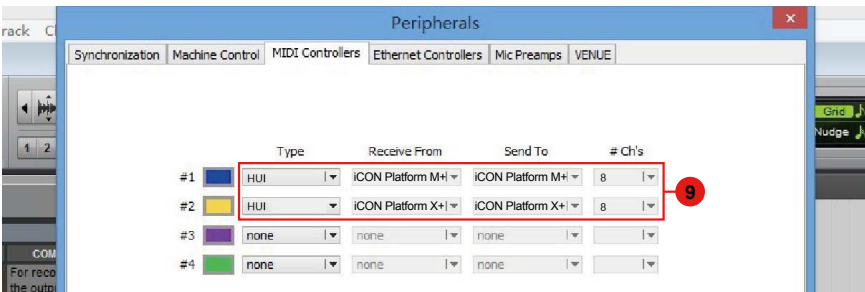
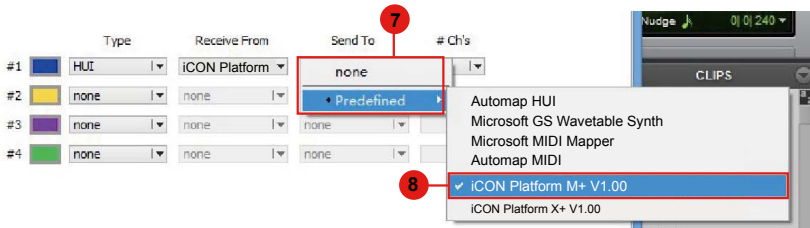
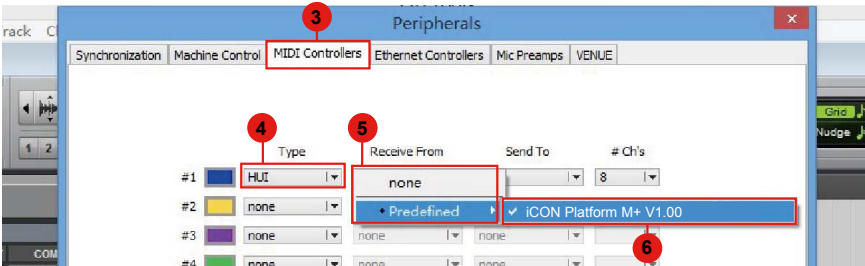
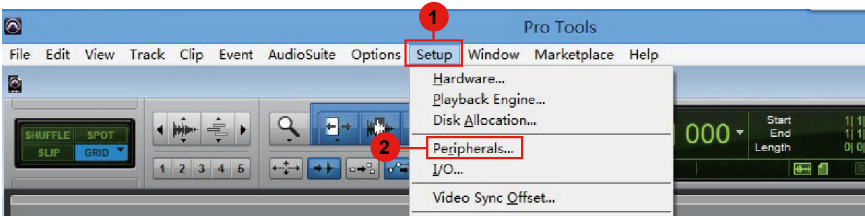


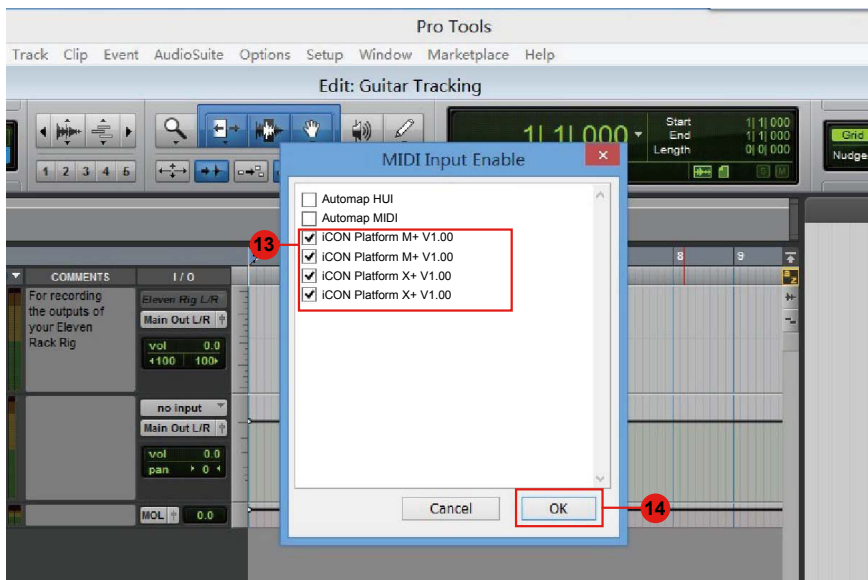
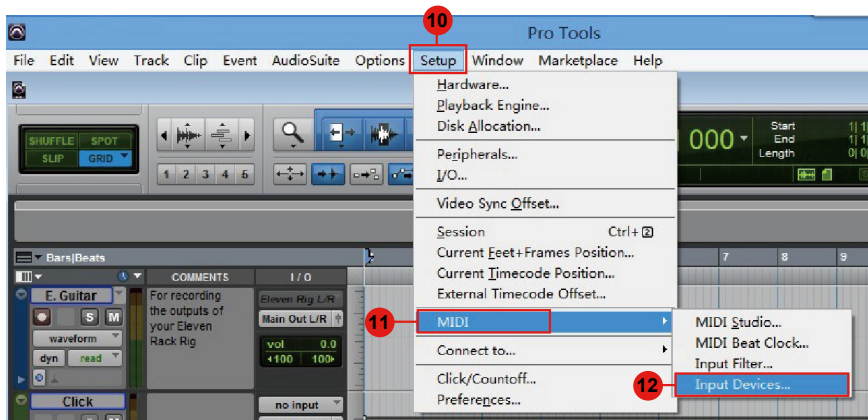
Samplitude



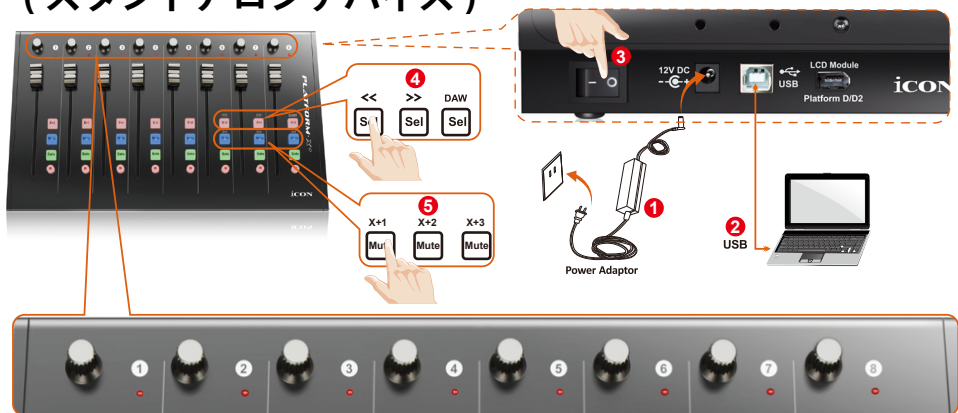


Pro Tools





Platform X+ コントローラの接続 (スタンドアロンデバイス)



2 USBポートを介して Mac/PC に Platform X+ を接続する

お手持ちの Mac/PC で USB ポートを選び、USB ケーブルの幅広（平ら）な端を差し込んでください。Platform X+ に、ケーブルのもう一方の端を差し込んでください。Mac/PC は自動的に新しいハードウェアを検出し、画面に使用可能になったことが表示されます。

4 Platform X+ で DAW を選択する

<< (チャンネル6の「Sel」ボタン)/>> (チャンネル7の「Sel」ボタン)を押して、DAW リストをスクロールしてから、「DAW」(チャンネル8の「Sel」ボタン)ボタンを押して選択を行います。

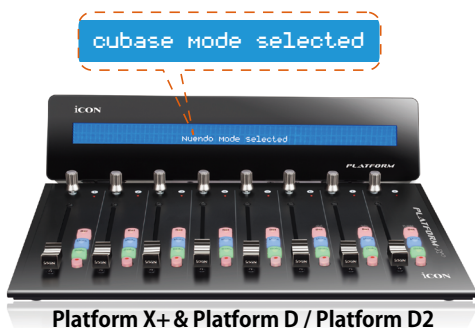
ブラッ Platform D/Platform D2(オプション)がインストールされている場合、リストをスクロールして選択を行う際、DAW の名前が LCD に表示されます。それ以外の場合は、画面上部にある9チャンネルのLED表示灯が DAW を示します。以下の順番で切り替わります：

チャンネル 1 LED：MCP (Nuendo / Cubase / Samplitude / Ableton Live / Reaper / Studio One / Reason / Bitwig / Sonar / Audition / FL Studio / Digital Performer)

チャンネル 2 LED：Logic Pro

チャンネル 3 LED：HUI (Pro Tools)

チャンネル 4 LED：User define



ヒント：Platform X+ は最後に選択された DAW モードを記憶し、スイッチを入れてから数秒後に同じモードを再入力します。(すなわち、最後に使用したモードを再使用する場合には、DAW モードを選択する必要はありません。)

5 ユニット番号を選択

「ユニット番号 1」を選択します。

6 DAW のセットアップ

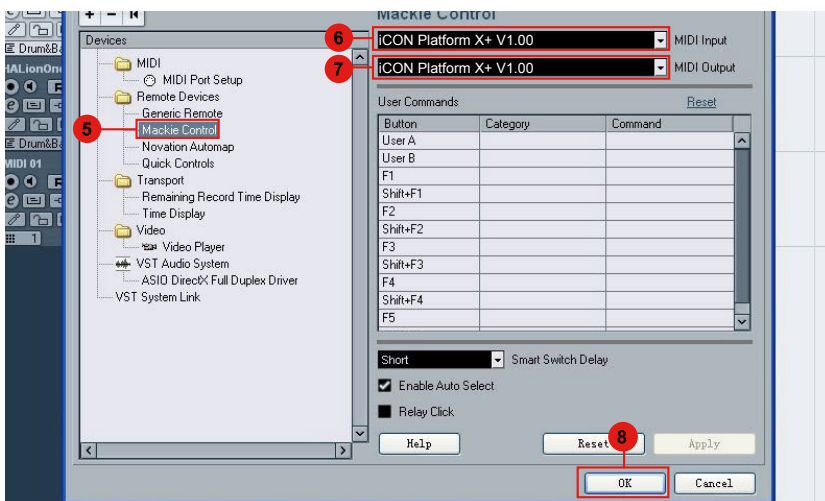
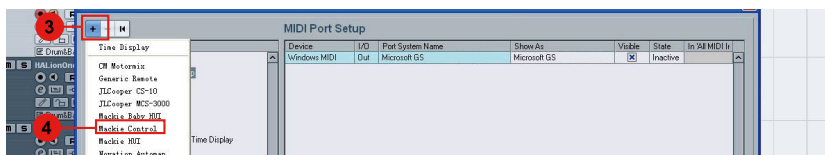
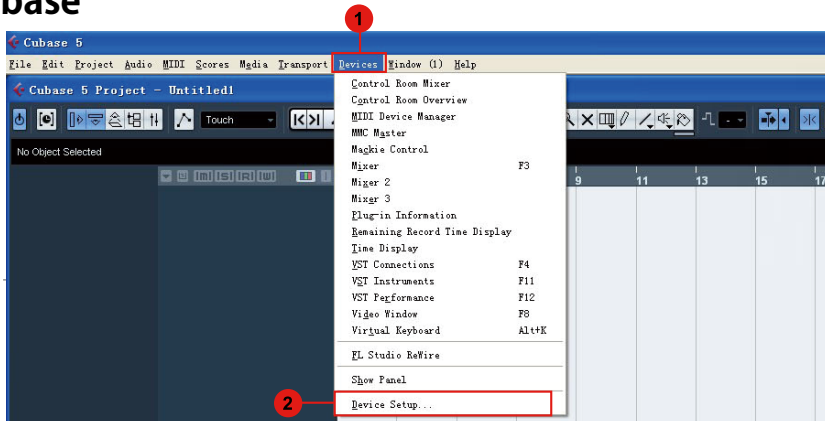
DAW または MIDI ソフトウェアの「MIDI セットアップ」または「MIDI デバイス」を使って、ICON Platform X+ コントローラーを起動します。

Logic™、Cubase™ や Nuendo™ では、「デバイスリスト」から「Mackie コントロール」を選択してください。

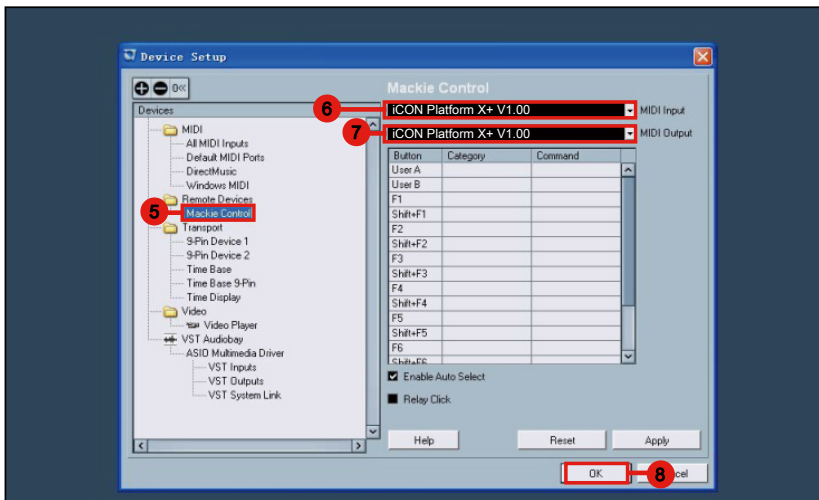
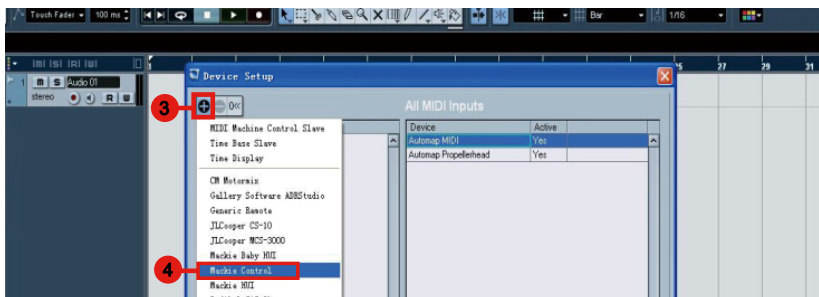
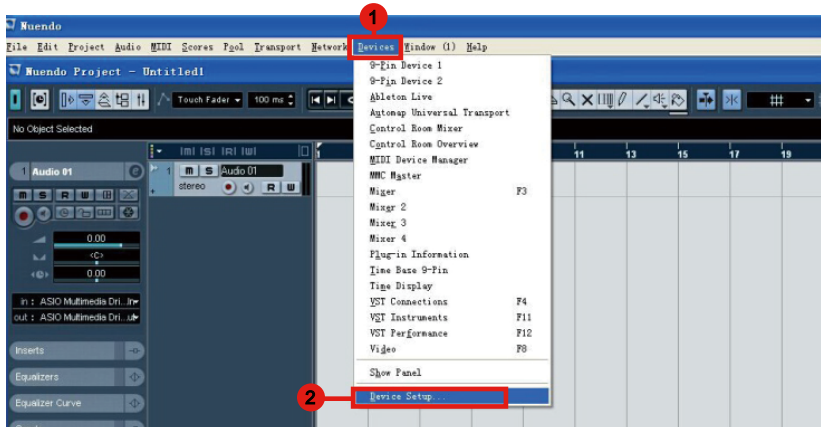
(**ヒント:** 当社のウェブサイト (www.iconproaudio.com) もご覧ください。また、各コントローラー (Platform X+) 製品ページの「Setup デモ」セクションには、種々の DAW の設定法を示した図が記載されています。

Setup デモリストに掲載されていない DAW に関しては、お使いのソフトウェアのユーザーマニュアルでハードウェアの設定を参照してください。)

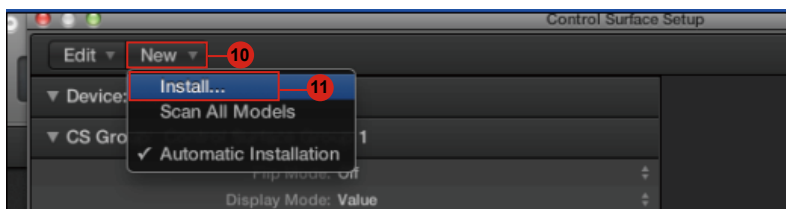
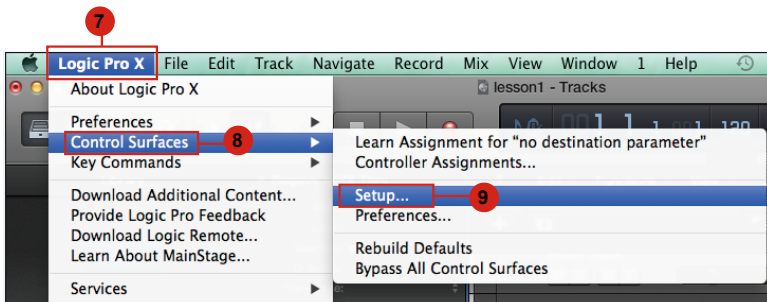
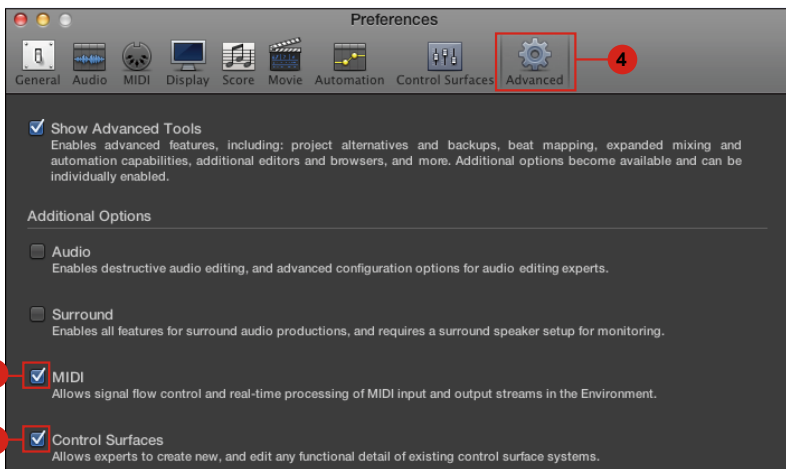
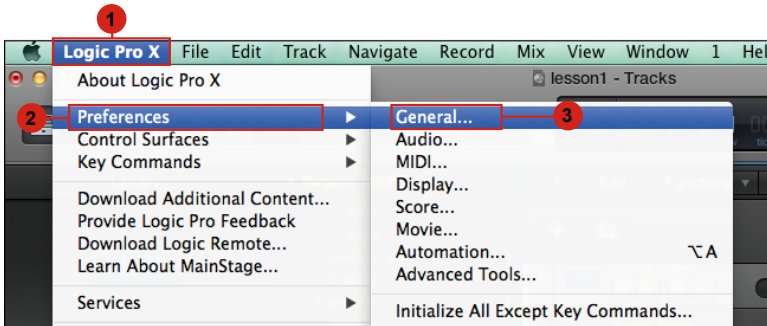
Cubase

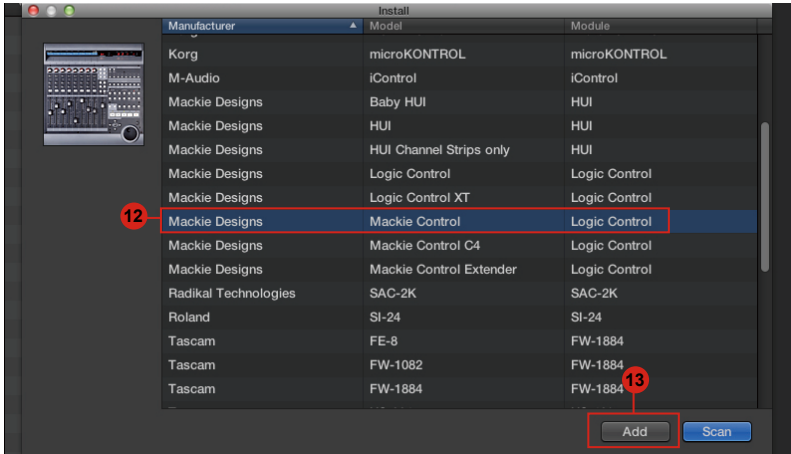


Nuendo

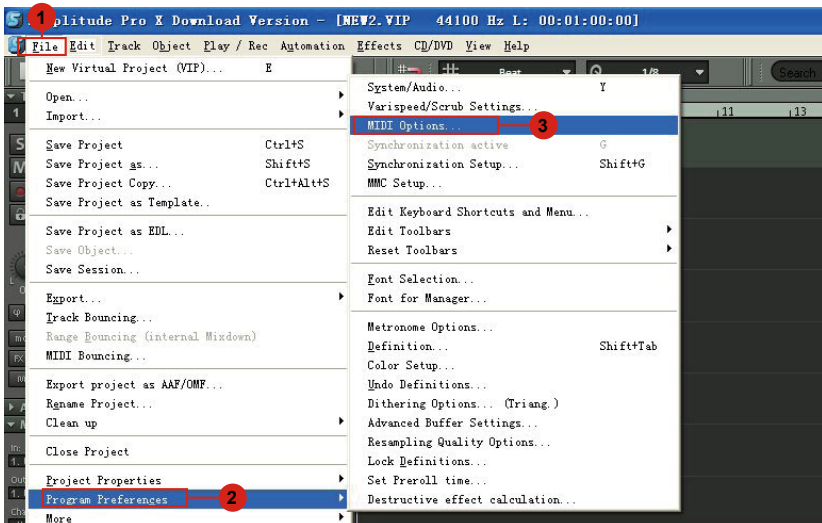


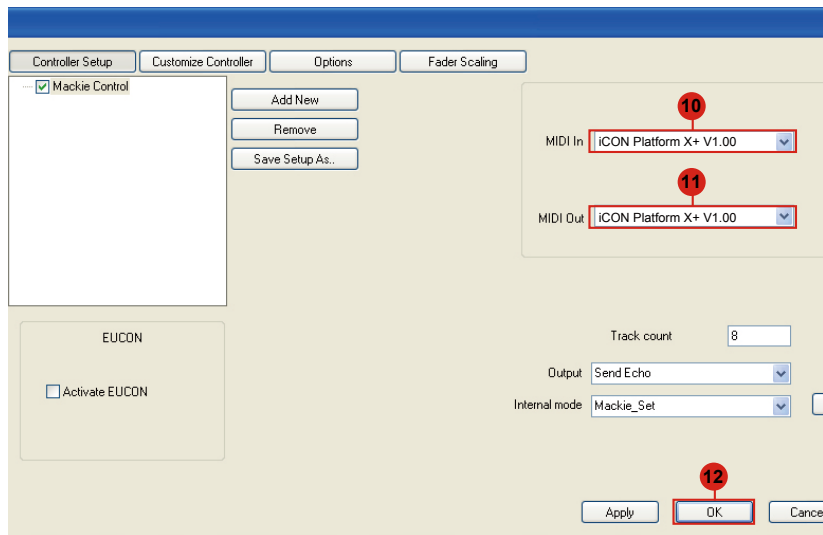
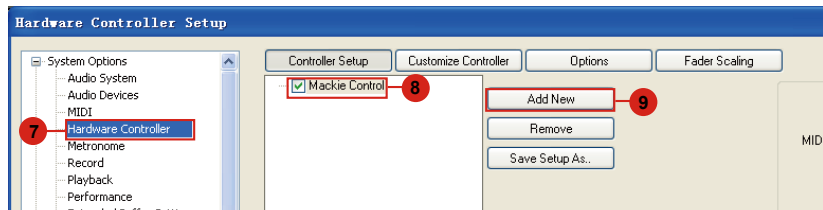
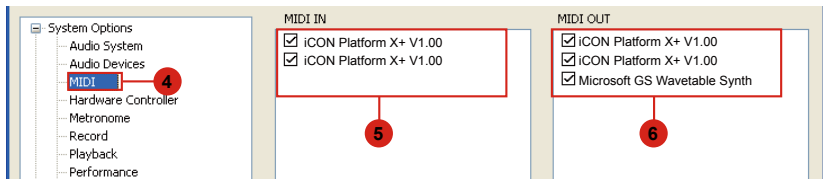
Logic Pro



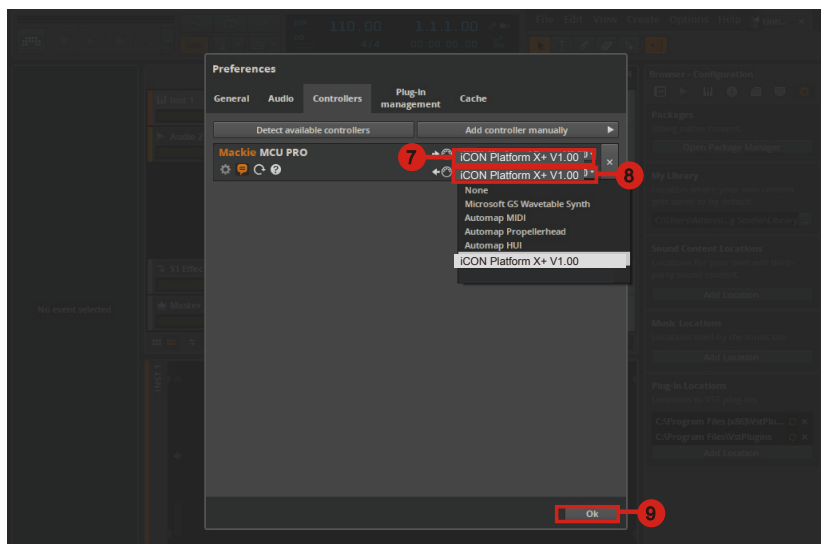
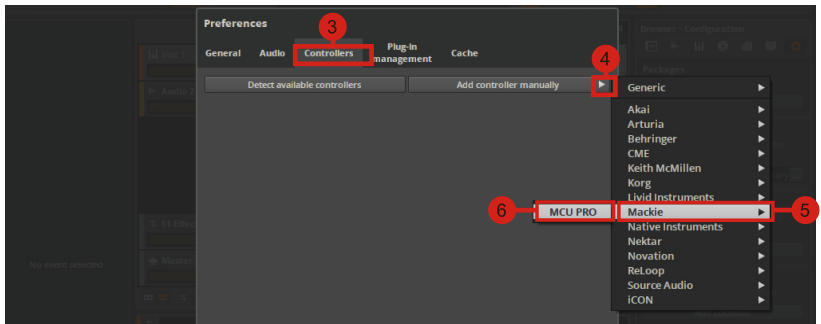
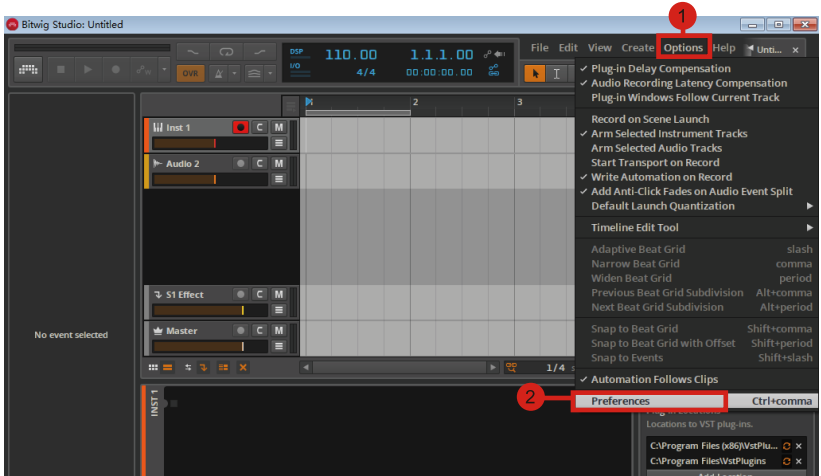


Samplitude

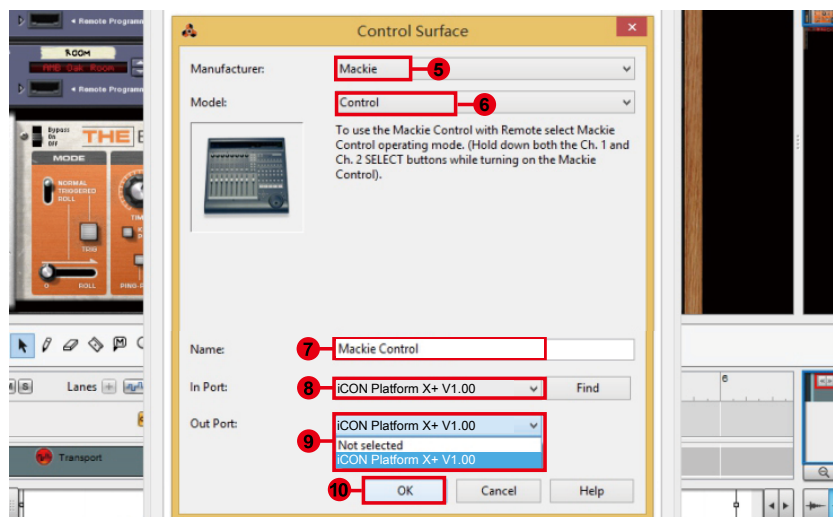
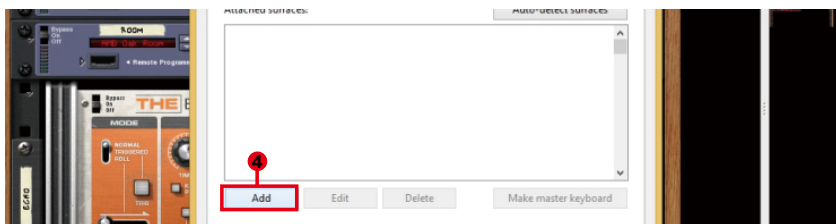
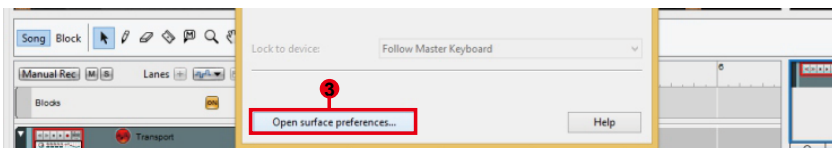
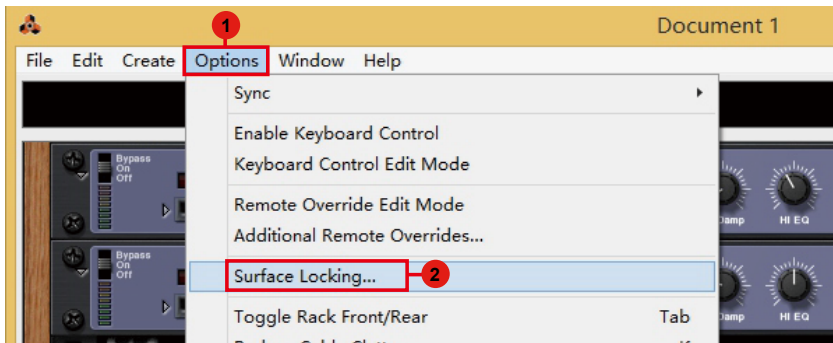




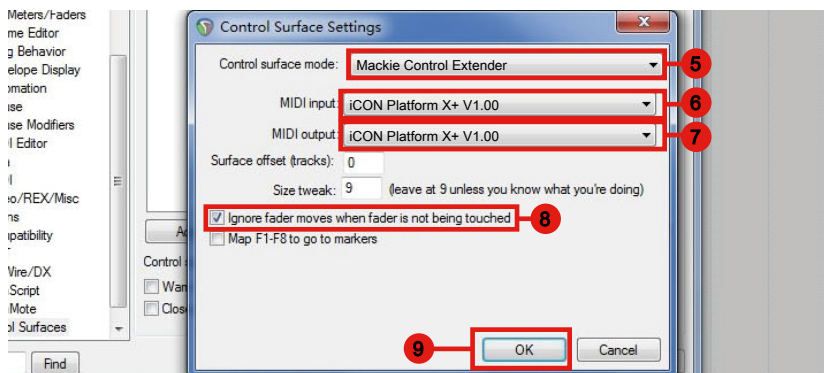
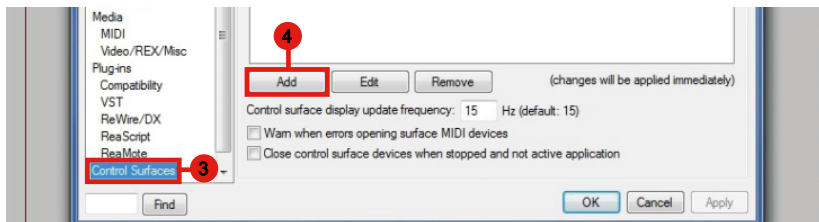
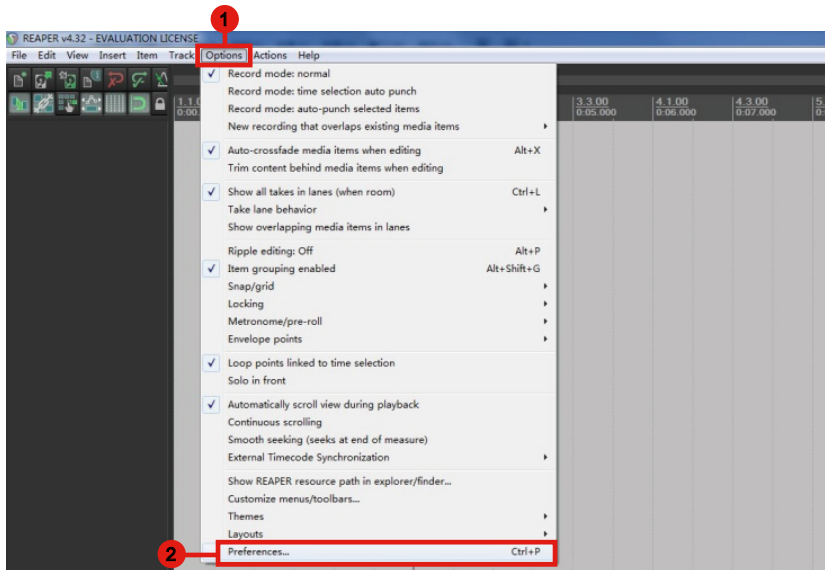
Bitwig



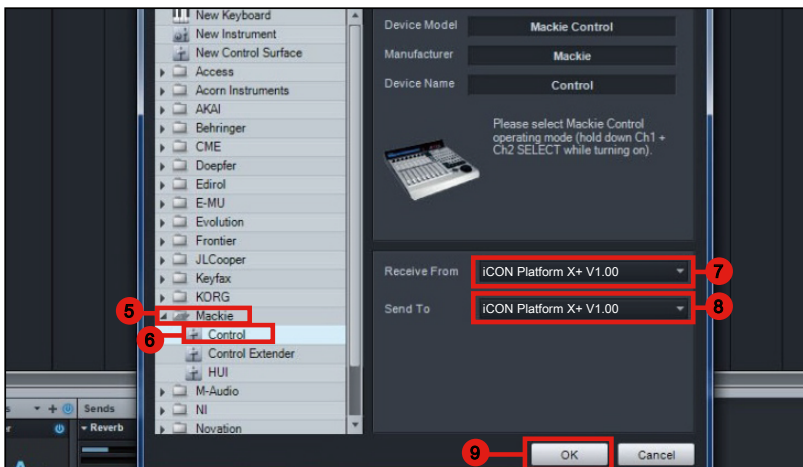
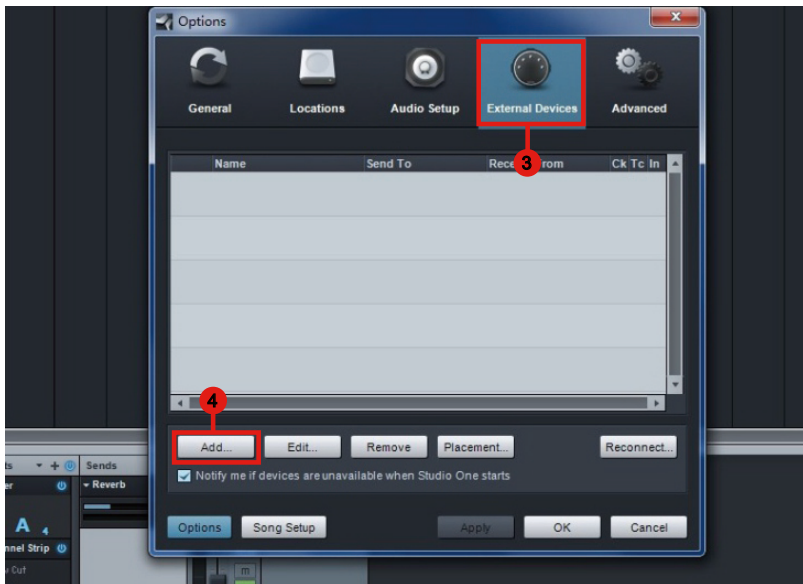
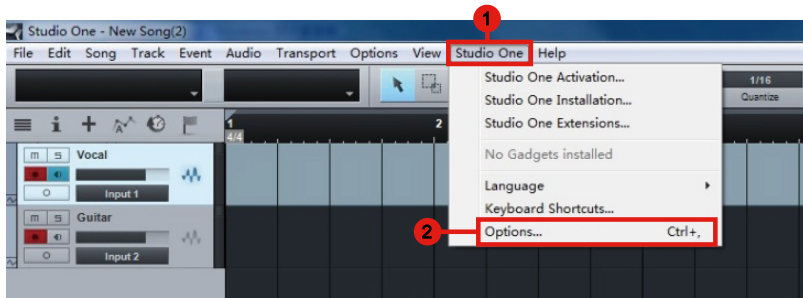
Reason



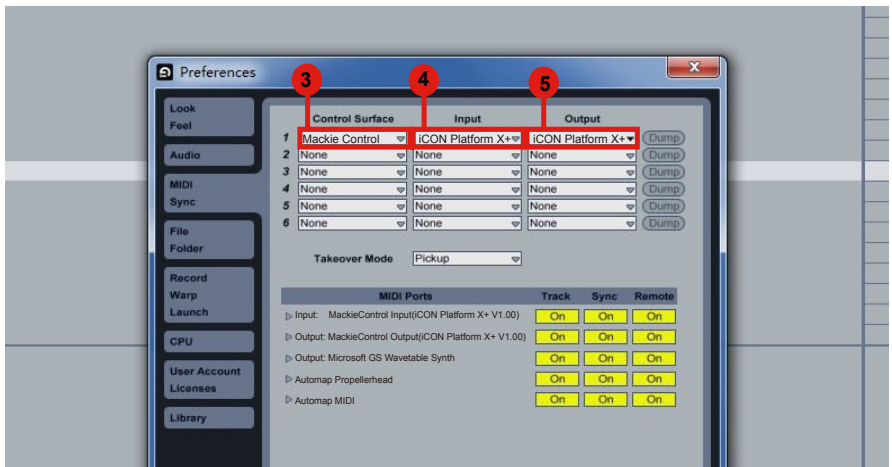
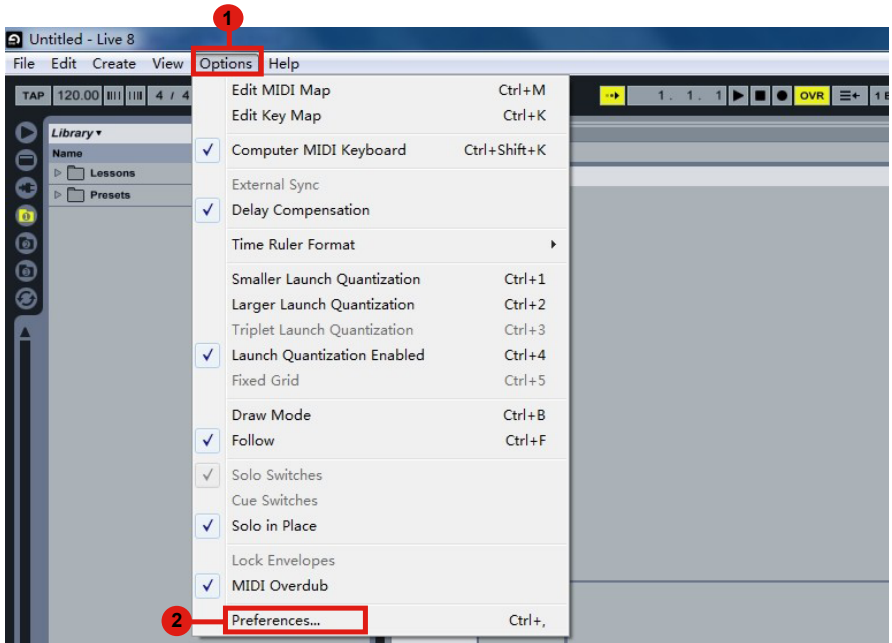
Reaper



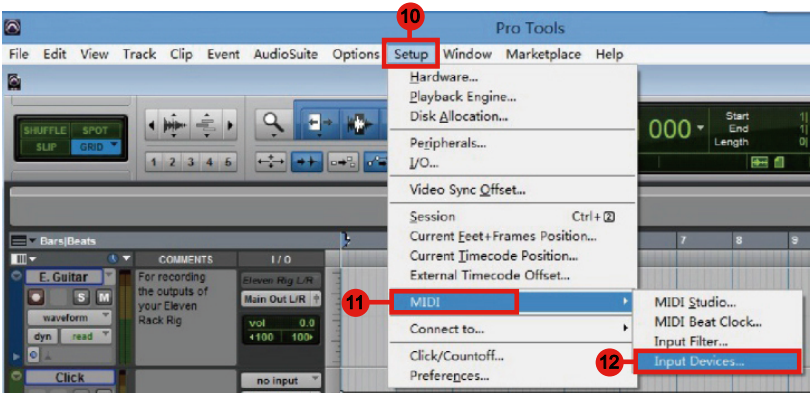
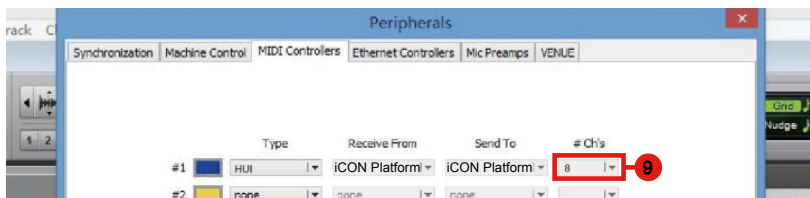
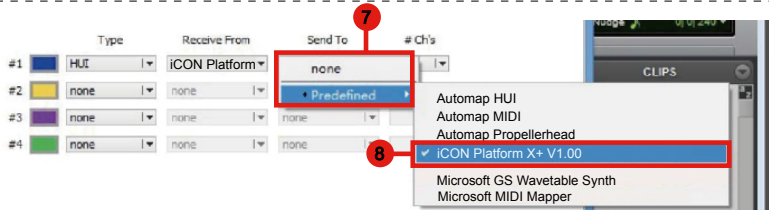
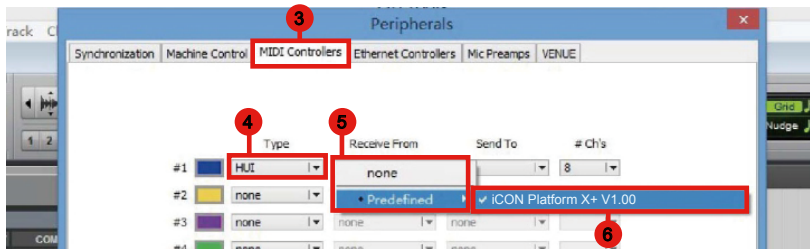
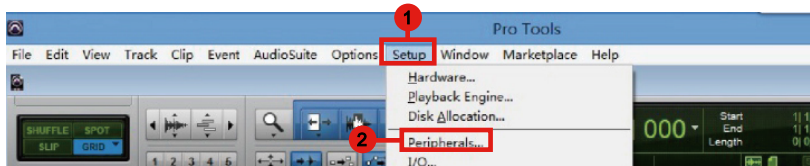
Studio One

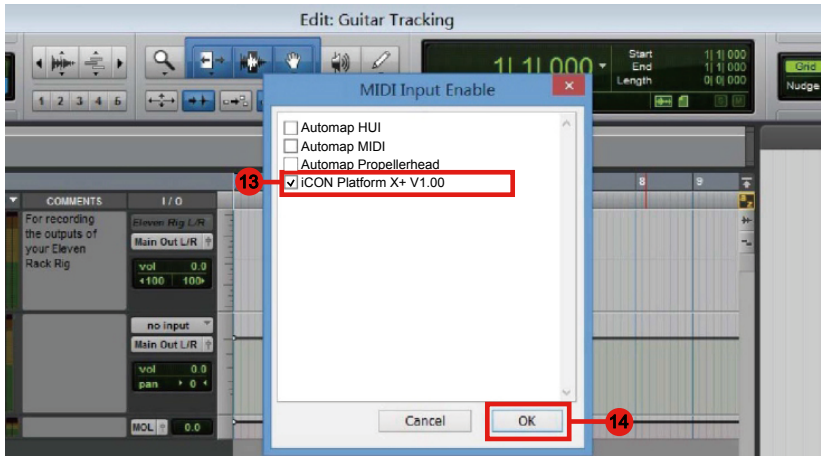


Ableton Live



Pro Tools





www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします

ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。



Platform X+
Serial Number: 7V12K1

Unregister
this device

iMap for MacOS

Download The Latest

iMap for Windows

Download The Latest

iMap for MacOS (FOR OLD OVERLAYS ONLY)

Download The Latest

iMap for Windows (FOR OLD OVERLAYS ONLY)

Download The Latest

図 1

1. Mac OS X に iMapTM をインストールする

Mac OS X をご利用の場合は、以下の手順で iMapTM ソフトウェアをインストールしてください。

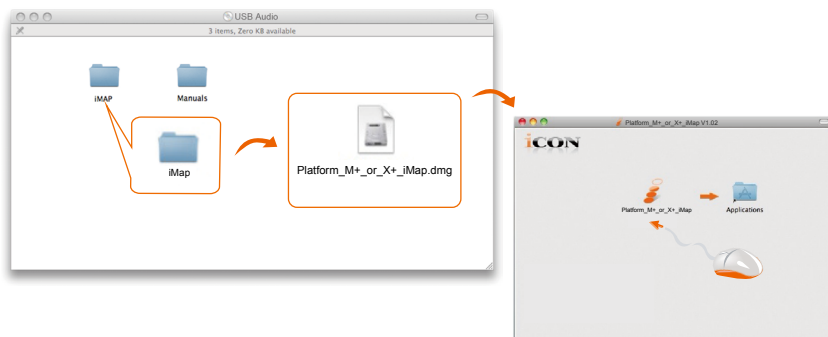


図 2

ヒント: 「Applications」フォルダに「Platform X+ iMap」アイコンを「ドラッグ・アンド・ドロップ」すると、お使いの Mac のデスクトップに「iMap」ショートカットが作成されます。

Windows に iMap™ をインストールする

Windows をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. **www.iconproaudio.com** の個人ユーザーページから、**Windows ドライバをダウンロード**します
ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。

3. インストール先を選択します。

既定のインストール先のまま、あるいはお好みのインストール先を選択してから「次へ」をクリックします。

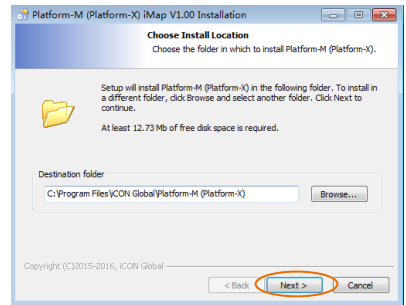


図 3

4. ショートカットを選択します。

iMap™ のショートカットを作成したいスタートメニュー・フォルダを選択します。「次へ」をクリックして続行します。

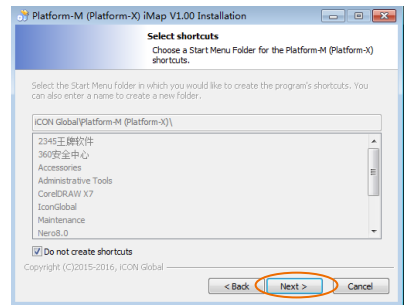


図 4

5. デスクトップにショートカット・アイコンを作成します。

iMap™ のショートカット・アイコンをデスクトップに作成したくない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。それ以外の場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

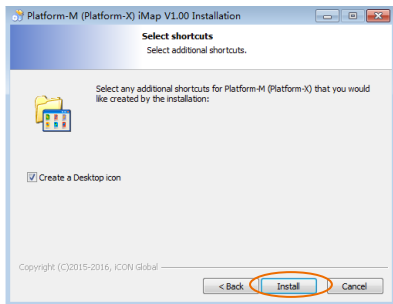


図 5

6. iMap™ のインストールが開始されます。

これで iMap™ のインストールが開始されます。インストールが完了するまでお待ちください。完了したら「次へ」をクリックして続行します。

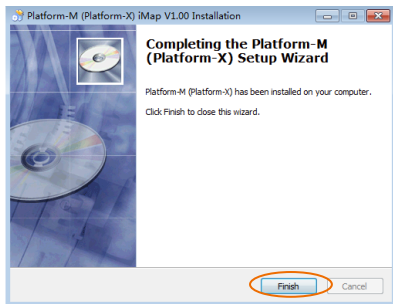


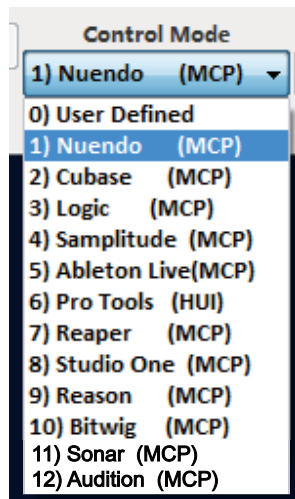
図 6

7. iMAP ソフトウェアを起動するデスクトップ上の iMAP ロゴをクリックしてください。



図 7

iMap™ による DAW モードの割り当て (Mackie Control/HUI) または MIDI 機能の定義

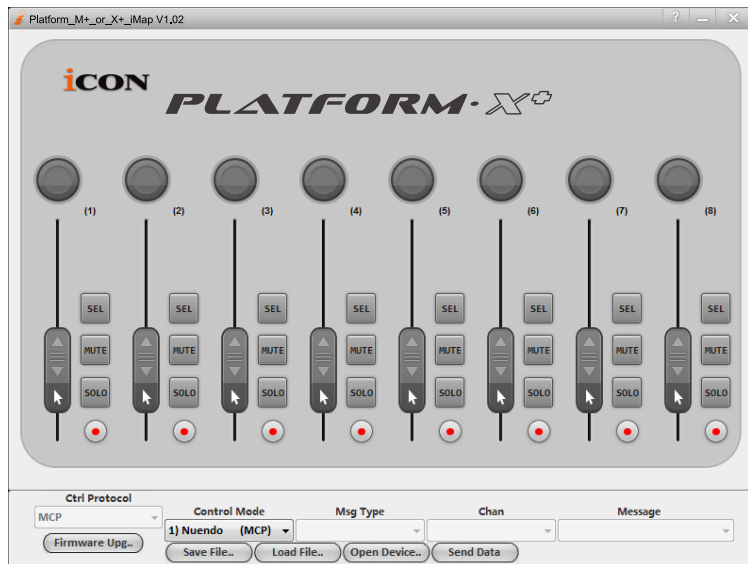


Platform X+ の設定方法は 2 つあります。一般に、使用する DAW に応じて Mackie Control/HUI プロトコルで予めマッピングされた DAW モードに、デバイスを設定するのが簡単かつ迅速な方法です。デバイスには、以下のような DAW Mackie/HUI プロトコルが内蔵されています：

1. MCP – Nuendo / Cubase / Samplitude / Ableton Live / Reaper / Studio One / Reason / Bitwig / Sonar / Audition / FL Studio / Digital Performer 用
2. Logic Pro – Logic Pro 用
3. HUI – Pro Tools 用
4. User define – User define 用

あるいは、iMap 機能のプルダウンメニューにあるご自分の MIDI メッセージを使って、Platform X+ に各制御エレメントを定義することができます。ただし、DAW の MIDI 構造を十分に理解していないと、設定が非常に困難になる可能性があります。当社では、最も一般的なユーザーの基本設定に応じてプログラムされ、ユーザーのニーズに適していると思われるプレマッピングされた DAW モードの使用を強くお勧めしています。

iMap™を使った DAW モード (Mackie control/HUI) の割り当て



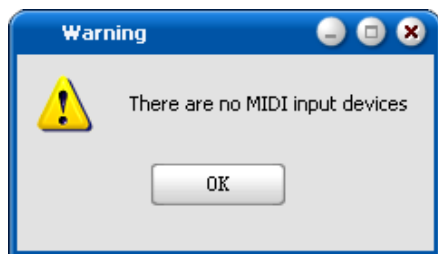
iMap™ Platform X+ ソフトウェア・パネル

ヒント: DAW モードの選択には、iMap の代わりにハードウェアを使用することもできます。指示については P.23 を参照してください。

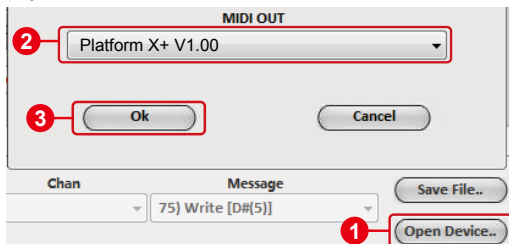
DAW モードの設定を開始するには、iMap を使って Platform X+ を接続します。以下の手順に従ってください：

1. Platform X+ をお使いの Mac/PC に接続します。
2. iMap を起動して「Connect Device」をクリックします。

注意: ご利用の Platform X+ がコンピューター (Mac/PC) に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、Platform X+ を USB ポートでコンピューター (Mac/PC) に接続してください。

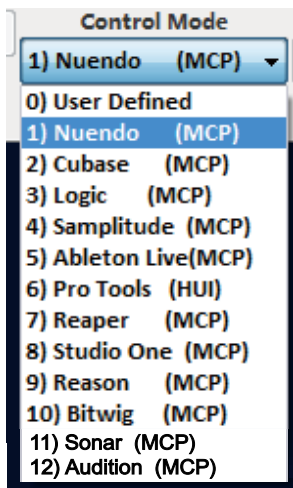


3. ポップアップメニューから、MIDI 出力デバイスとして「Platform X+」を選択します。



4. お使いの DAW に応じて、「モード」プルダウンメニューから DAW Mackie/HUI プロトコルモードを選択します。異なる DAW モードは以下のリストをご覧ください：

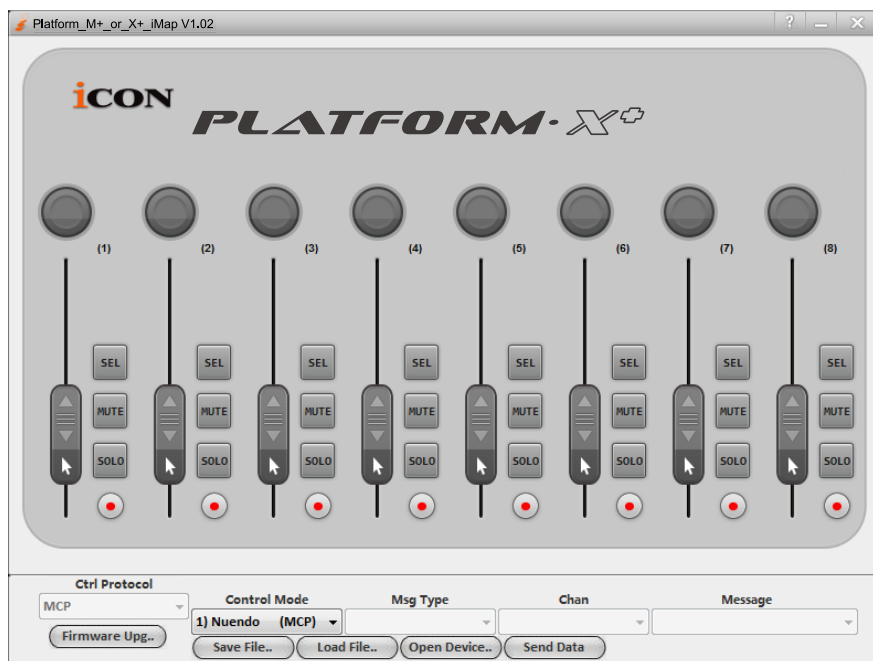
1. MCP – Nuendo / Cubase / Samplitude / Ableton Live / Reaper / Studio One / Reason / Bitwig / Sonar / Audition / FL Studio / Digital Performer 用
2. Logic Pro – Logic Pro 用
3. HUI – Pro Tools 用
4. User define – User define 用



注意：DAW モード (Mackie Control/HUI) では、プラットフォーム X 上の制御に対する MIDI メッセージ設定を変更できません。

5. すべての設定を作成し終わったら「Send Data」をクリックします。
6. iMap を閉じます。

iMap™ を使用したユーザー定義モードでの MIDI メッセージの割り当て

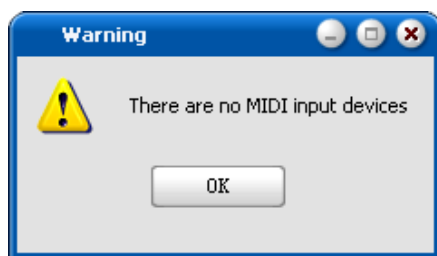


iMap™ Platform X+ ソフトウェア・パネル

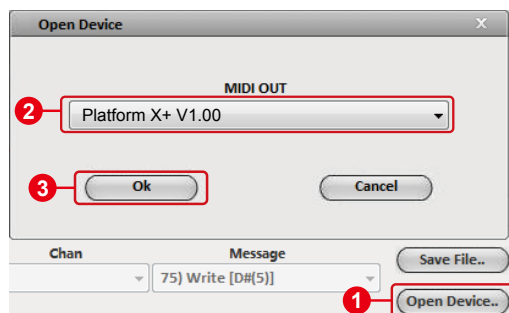
「User-Defined Mode」モードの設定を開始するには、iMap を使って Platform X+ を接続します。以下の手順に従ってください：

1. Platform X+ をお使いの Mac/PC に接続します。
2. iMap を起動して「Connect Device」をクリックします。

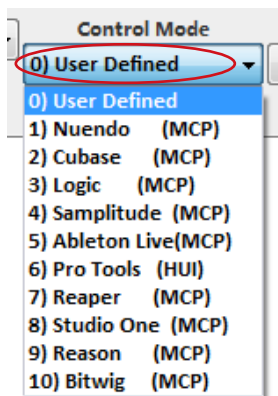
注意：ご利用の Platform X+ がコンピューター（Mac/PC）に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、Platform X+ を USB ポートでコンピューター（Mac/PC）に接続してください。



3. ポップアップメニューから、MIDI 出力デバイスとして「Platform X+」を選択します。



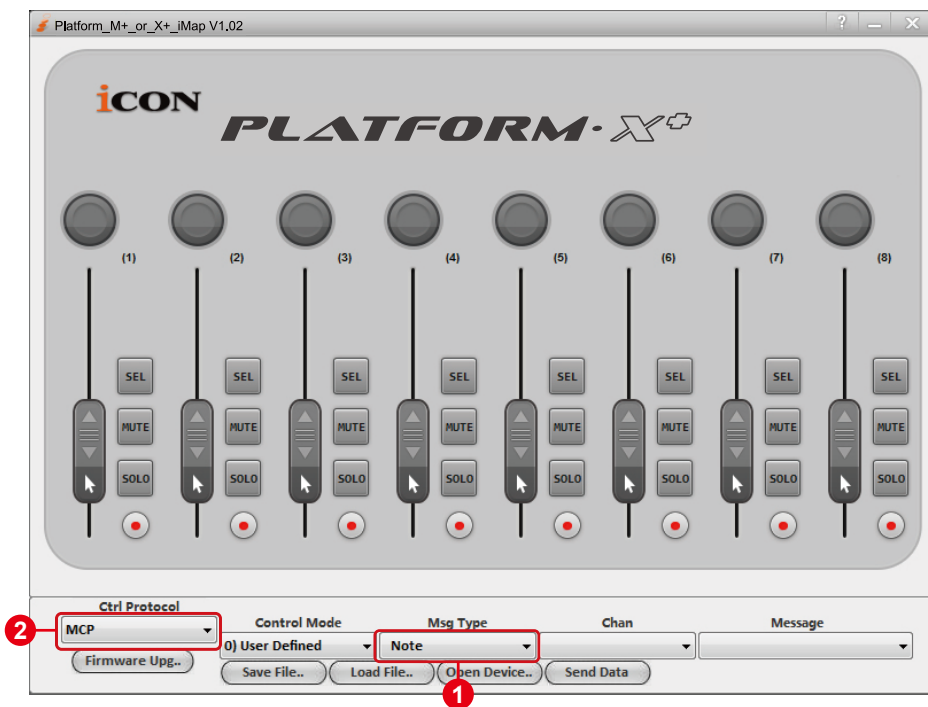
4. 「モード」プルダウンメニューで「User-Defined Mode」を選択します。ユーザー定義モードの各制御エレメント設定については、下記を P.40 でご覧ください。



5. すべての設定を作成し終わったら「Send Data」をクリックします。
6. iMap を閉じます。

ユーザー定義モードでの制御エレメント設定

iMap™ Platform X+ ソフトウェア・パネル



Platform X+ では、フェーダー、つまみ、ボタン、などの制御機能を使って独自の MIDI メッセージを設定できます。メッセージのタイプは「ピッチ」、「メモ」、「プログラム」、「CC」の 4 つの値があり、制御エレメントに応じて選択可能です^①。使用できる制御の設定値は、下の表を参照してください。

「制御エレメントチャート」

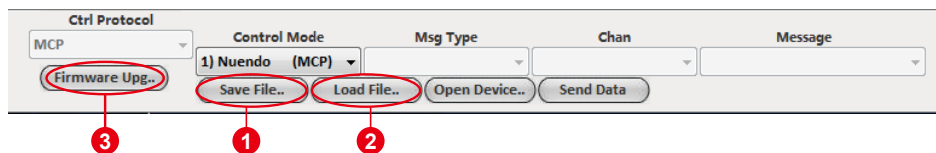
Control protocol	Control	Element	Available MIDI message setting values		
			Message type	Channel	Message
MCP	Faders	Slide	Pitch	1-16	0-127
		Touch sensitive	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	Faders	Slide	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
		Touch sensitive	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
MCP	Knobs	Rotate	CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
		Enter	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	Knobs	Rotate	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
		Enter	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
MCP	Buttons	All buttons except "Lock" button	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	Buttons	All buttons except "Read", "Write", "Lock", "Hori-Zoom" & "Vert-Zoom"	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master

また、お使いの DAW に応じて適した制御プロトコル (MCP または HUI) **②** を選択し、Platform X+ と DAW 間の通信を確立することもできます。異なる DAW に推奨される制御プロトコルについては、下の表を参照してください。

「異なる DAW に推奨されるプロトコル」

Nuendo	MCP
Cubase	MCP
Logic Pro X	MCP
Samplitude Pro	MCP
Ableton Live	MCP
Pro Tools	HUI
Reaper	MCP
Studio One	MCP
Reason	MCP
Bitwig	MCP
Sonar	MCP
Audition	MCP

iMap™ のその他の機能



1. 「ファイルの保存」 ボタン

このボタンをクリックして、現在の Platform X+ の設定を保存します。保存ファイルの拡張子は「Platform X+」です。

2. 「ファイルを開く」 ボタン

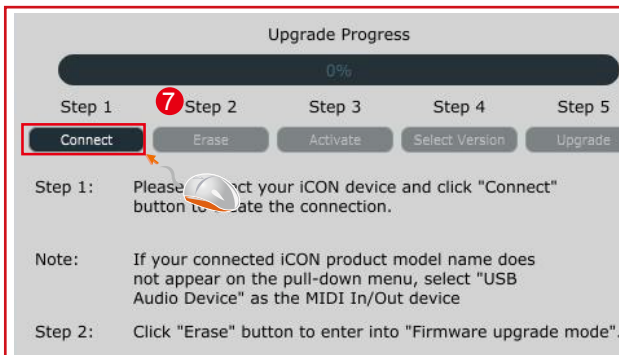
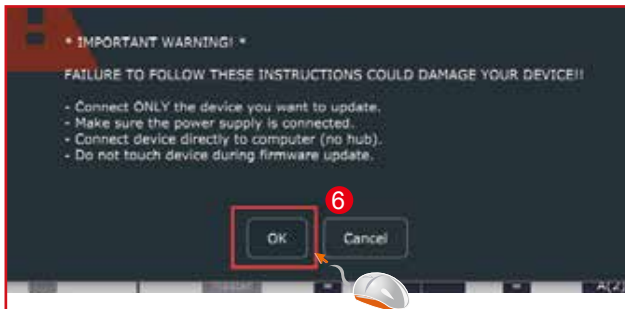
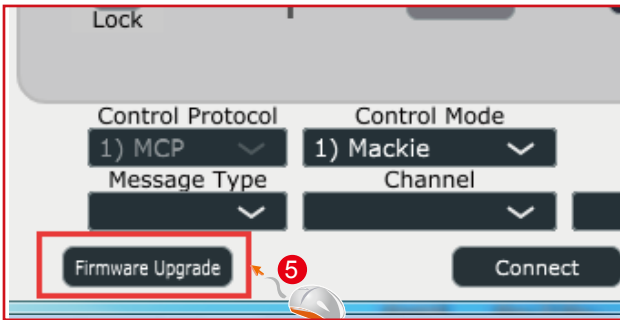
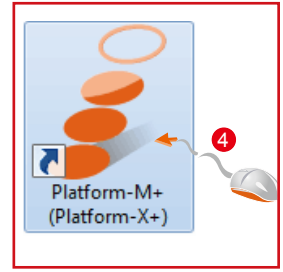
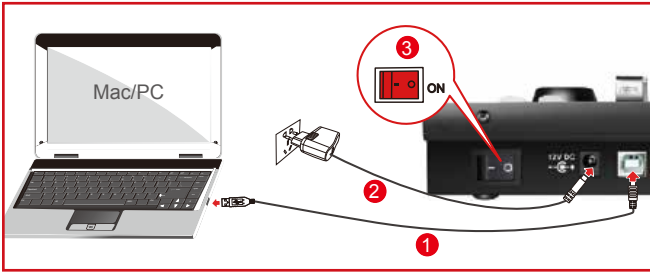
このボタンをクリックして、保存された Platform X+ の「Platform X+」設定ファイルを開きます。

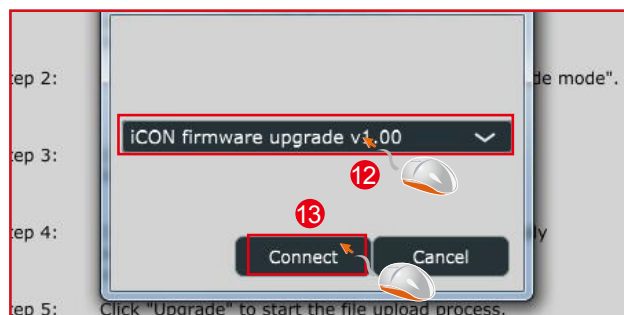
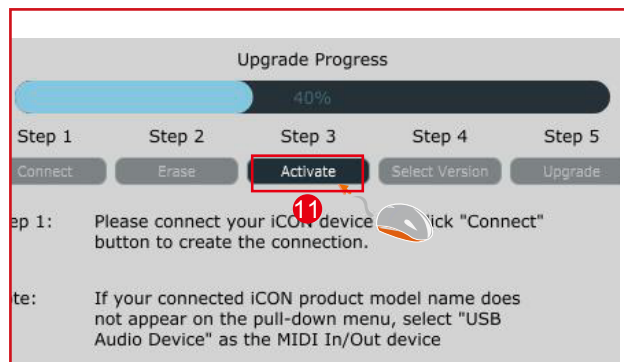
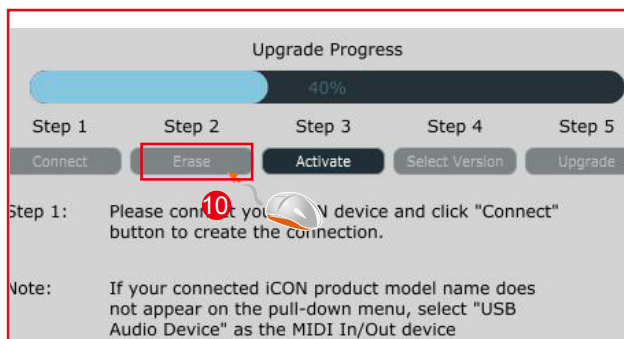
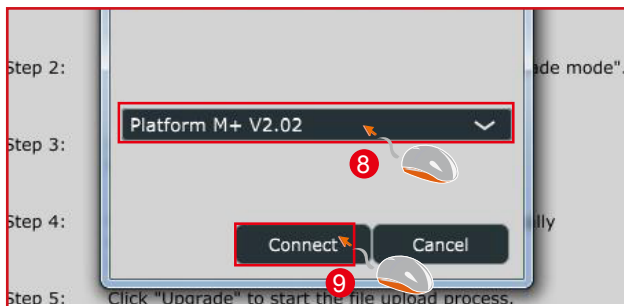
3. 「ファームウェア・アップグレード」 ボタン

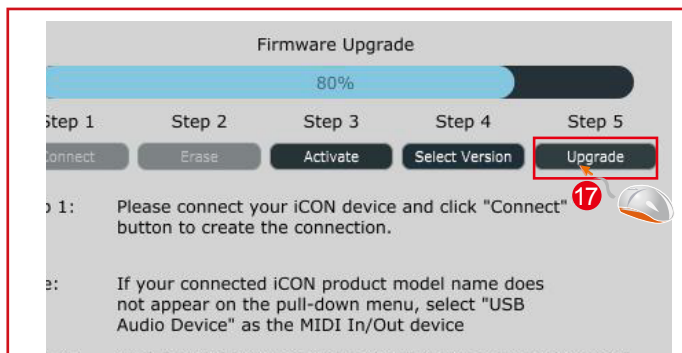
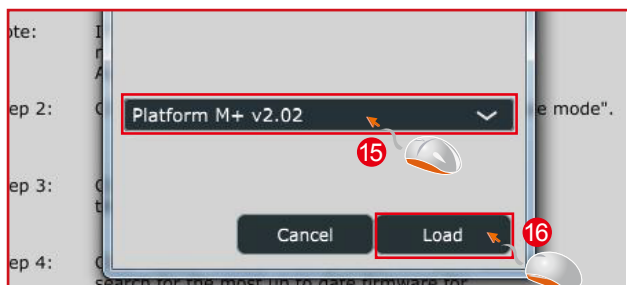
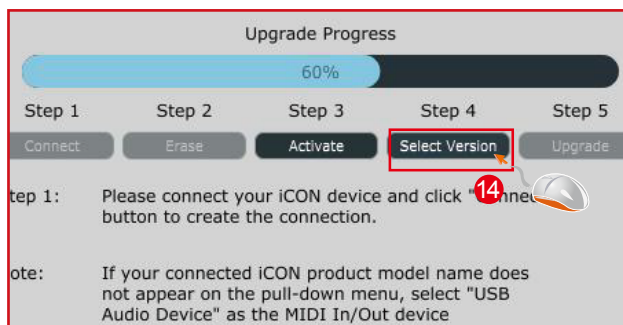
このボタンをクリックすると、Platform X+ のファームウェア・アップグレード・ウィンドウに進みます。ファームウェア・アップグレードの手順については、47 ページをご覧ください。

ファームウェアのアップグレード

Platform X+ 機能ファームウェアアップロード手順。







デフォルト工場設定に戻す

Platform X+ 設定を出荷時の設定に復元するには、iMap を起動し、以下の手順に従って元の設定 (すなわち、変更前の設定) をデバイスにインポートします。

1. 付属の USB ケーブルを使って Platform X+ を接続し、iMap ソフトウェアを起動します。
2. 「MIDI Device」ボタンをクリックして、「Platform X+」を MIDI 入出力デバイスとして選択します。
注意：プルダウンメニューに Platform X+ が表示されない場合は、USB オーディオを MIDI 入出力デバイスとして選択してください。
3. 「Send Data」をクリックして、Platform X+ に設定をアップロードします。
4. iMap を閉じてから、Platform X+ の電源を一度切って入れ直します。

製品仕様

接続端子:	コンピューター出力	USB コネクター
電源供給:		12V/2.5A DC
消費電力:		最大 2.0A
重量:		1.53kg (3.37lb)
寸法:		335(L) x 196(W) x 58(H)mm
		13.2"(L) x 7.7"(W) x 2.3"(H)

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)

2. ダウンロード

3. 詳細情報

4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。

<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送いただく、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

北米にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ICON Service Centre
611 Potomac PL Ste 102
Smyrna, 37167-5655 Tennessee.
United States
Tel.: +1 615 540 989

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng
Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

Sound Service
GmbH European
Headquarter Moriz-Seeler-Straße
3D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: info@sound-service.eu

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



<p>天猫官方旗舰店</p>  <p>天猫店iconproaudio旗舰店</p>	<p>抖音号</p>  <p>抖音iCON艾肯</p>	<p>哔哩哔哩</p>  <p>B站iCONProAudio 中国地区用户</p>	<p>微信公众号</p>  <p>微信号iCON-PRO</p>	<p>官方售后QQ</p>  <p>4006311312.114.qq.com</p>
--	--	--	---	--

<p>Twitter</p>  <p>www.twitter.com/iconproaudio</p>	<p>Instagram</p>  <p>www.instagram.com/iconproaudio</p>	<p>Facebook</p>  <p>www.facebook.com/iconproaudio</p>	<p>Youtube</p>  <p>www.youtube.com/iconproaudio</p>
--	--	---	--

<p>Website</p>  <p>www.iconproaudio.com</p>	<p>Support</p>  <p>support.iconproaudio.com</p>	<p>Dashboard</p>  <p>iconproaudio.com/dashboard/</p>
---	---	---

www.iconproaudio.com